

J P C

J A P A N P O W E R C I T I E S

日本の 都市特性評価

Japan Power Cities
Profiling Urban Attractiveness

2026



森記念財団
MORI MEMORIAL FOUNDATION

目次

はじめに	02
「日本の都市特性評価 2026」とは	03
対象都市	05
評価体系	07
136 都市 結果・分析	09
東京23区 結果・分析	22
指標の定義	25



Japan Power Cities WEBSITE
www.mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc

はじめに

2025年の日本では、人口減少と少子高齢化がさらに進行し、多くの地域で人手不足や地域活力の低下が顕在化しました。一方で、外国人人口や訪日外国人旅行者数は引き続き増加しており、日本社会はこれまで以上に多様性と国際性を求められる時代に入っています。都市においては、労働力不足への対応だけでなく、多文化共生や外国人にとって暮らしやすい生活環境整備が重要なテーマとなっています。

また、気候変動による影響は年々深刻化しており、猛暑や豪雨などの異常気象が都市生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。特に2025年は、都市部における暑熱対策や防災インフラの重要性が改めて認識された一年となりました。

近年のAIやデジタル技術の急速な発展は、都市のあり方そのものを変えつつあります。働く場所や時間の制約が弱まり、人々の生活はより柔軟になった一方で、都市に求められる価値も変化しています。単に便利であることよりも、日常の中で安心して過ごせることや、自分らしくいられる環境であることが重視されるようになっていきます。こうした流れの中で、都市の魅力は経済規模だけでは測れず、多様な人々が無理なく共存できるかどうか、そして長く暮らしたいと思える環境を持てるかが問われています。

こうした変化の中で、各都市にはそれぞれの地域資源や特性を活かした独自の魅力づくりが求められています。人口減少時代においても持続的に発展していくためには、経済成長だけでなく、環境、福祉、文化、多様性などを含めた総合的な都市力を高めていく必要があります。

森記念財団都市戦略研究所が実施する「日本の都市特性評価 (Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness / JPC)」は、こうした時代背景のもと、都市の魅力や競争力を多角的に可視化することを目的として継続的に取り組んでいます。今後も社会変化に応じて評価視点をアップデートしながら、各都市が未来に向けた戦略を検討する際の一助となることを期待しています。

日本の都市特性評価 運営委員会 委員長

市川 宏雄

2026年7月



「日本の都市特性評価 2026」とは

About JPC-2026

背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、**日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め**、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。

そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められる。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに**相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的**として調査研究を行った。

策定体制

運営委員会

Steering Committee

評価体系の構築、データ収集、評価・分析

【委員長】



市川 宏雄

Hiroo Ichikawa

明治大学名誉教授

【メンバー】

森記念財団 都市戦略研究所

有識者委員会

Expert Committee

専門的な見地からの意見および助言

【委員（五十音順）】



浅見 泰司

Yasushi Asami

東京大学
空間情報科学研究センター
特任教授



市川 一宏

Kazuhiro Ichikawa

ルーテル学院大学
名誉教授



岸井 隆幸

Takayuki Kishii

政策研究大学院大学
客員教授、
日本大学名誉教授



中井 検裕

Norihiro Nakai

東京科学大学
名誉教授



中川 雅之

Masayuki Nakagawa

日本大学経済学部
教授



花木 啓祐

Keisuke Hanaki

東京大学名誉教授、
東洋大学名誉教授



吉見 俊哉

Shunya Yoshimi

國學院大学
観光まちづくり学部
教授



意見
助言

評価手法

▶ Creating Framework



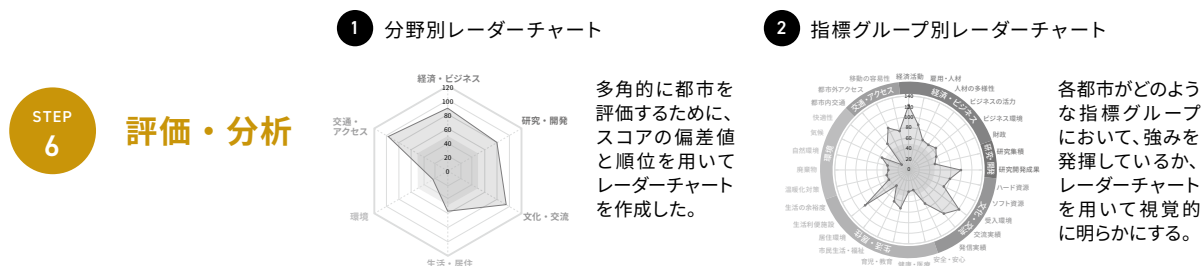
▶ Data Collection



▶ Indexation



▶ Evaluation and Analysis



対象都市

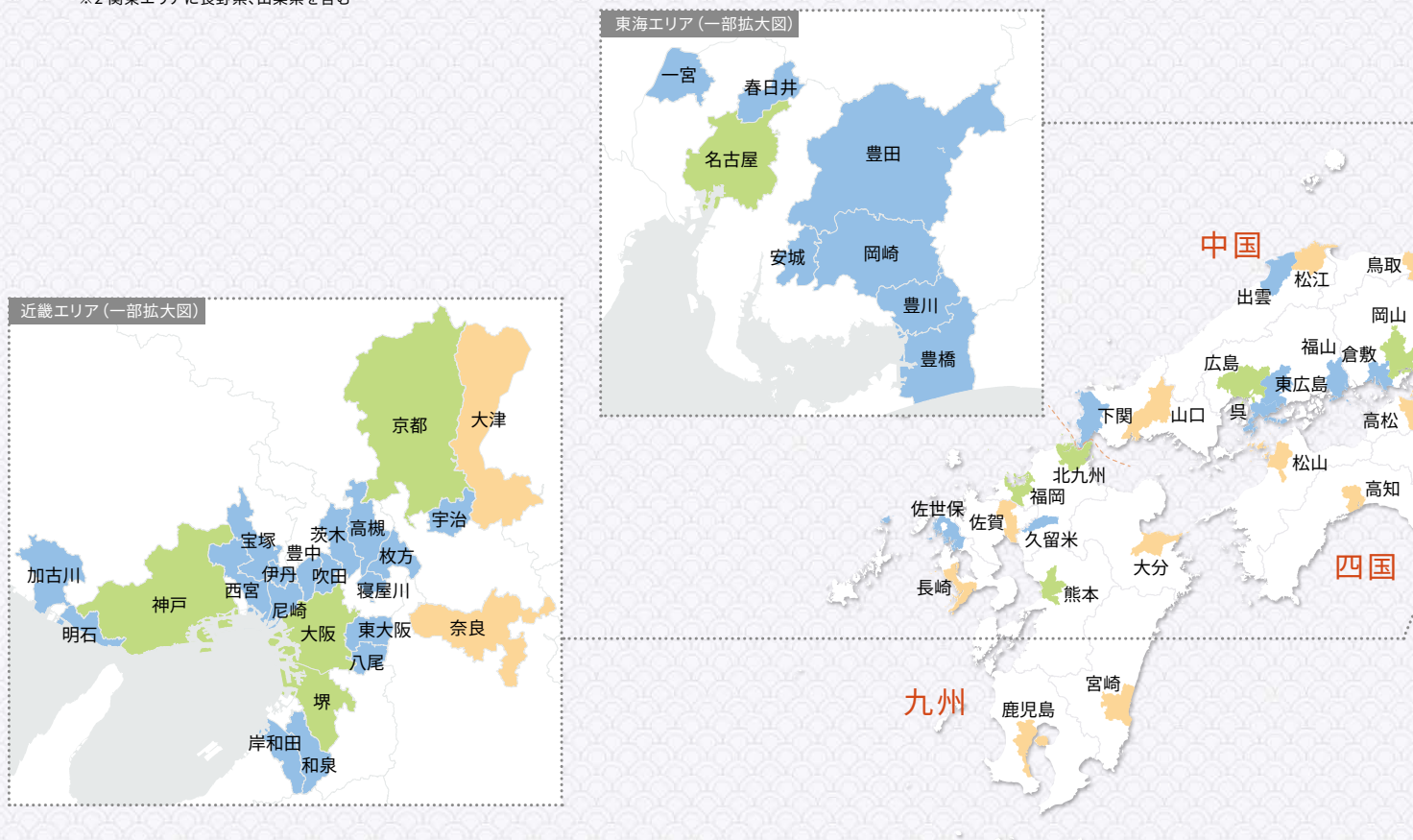
Target Cities

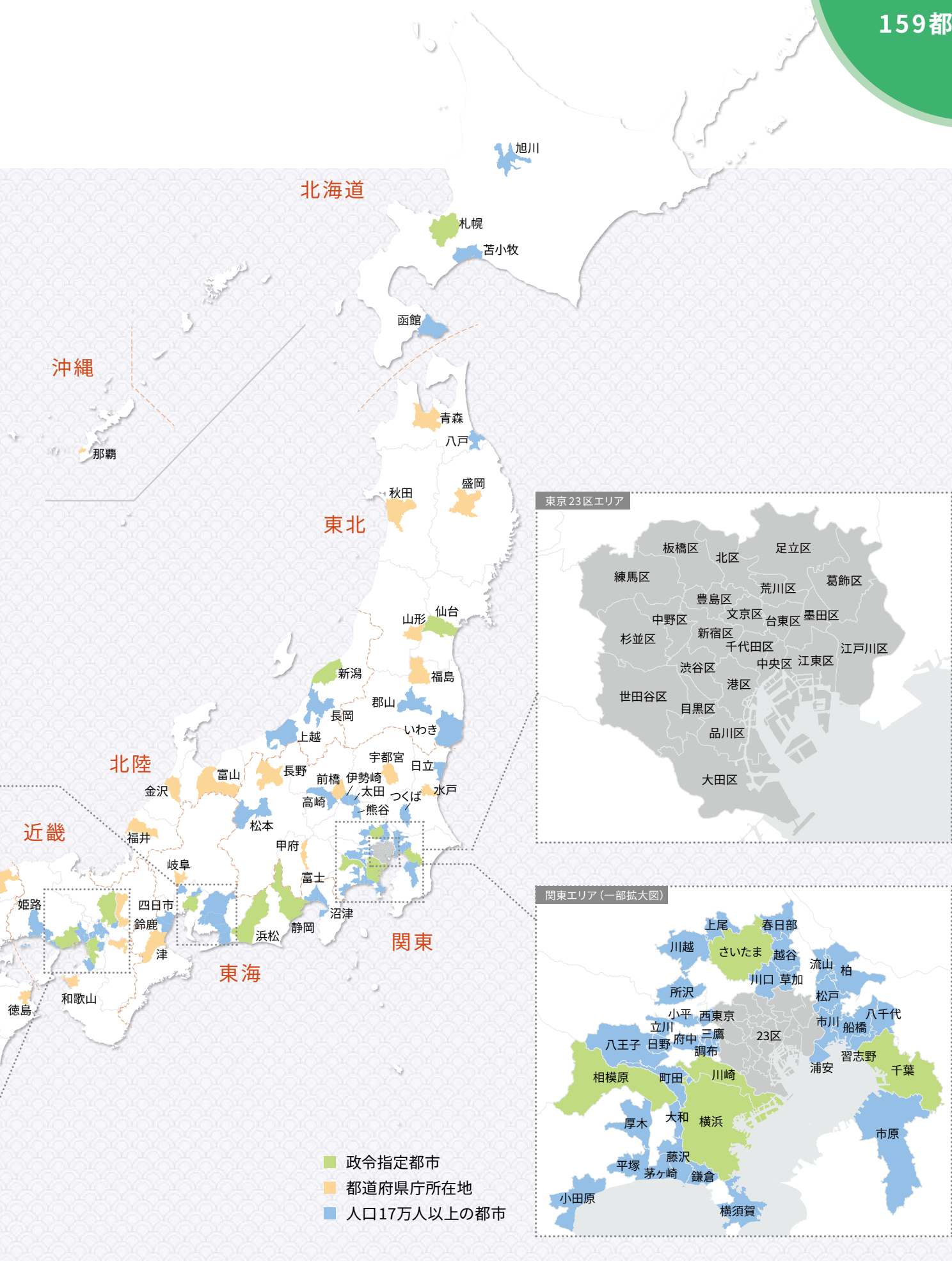
本調査は、国内の136都市と東京23区を対象としている。
136都市については下記のとおり選定基準を設定し、抽出した。

1. 政令指定都市
2. 都道府県庁所在地(政令指定都市を除く)
3. 人口17万人以上の都市^{※1}

	政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上の都市
136 都市	北海道 札幌		函館・旭川・苫小牧
	東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	八戸・郡山・いわき
	関東 ^{※2} さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	日立・つくば・高崎・伊勢崎・太田・川越・熊谷・川口・所沢・春日部・上尾・草加・越谷・市川・船橋・松戸・習志野・柏・市原・流山・八千代・浦安・八王子・立川・三鷹・府中・調布・町田・小平・日野・西東京・横須賀・平塚・鎌倉・藤沢・小田原・茅ヶ崎・厚木・大和・松本
	東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	沼津・富士・豊橋・岡崎・一宮・春日井・豊川・豊田・安城・四日市・鈴鹿
	北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡・上越
	近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	宇治・岸和田・豊中・吹田・高槻・枚方・茨木・八尾・寝屋川・和泉・東大阪・姫路・尼崎・明石・西宮・伊丹・加古川・宝塚
	中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	出雲・倉敷・呉・福山・東広島・下関
	四国	徳島・高松・松山・高知	
	九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
	沖縄	那覇	
東京 23区	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		

※2 関東エリアに長野県、山梨県を含む





※1 総務省統計局「令和2年国勢調査」にもとづく

評価体系

Evaluation System

各指標をスコア化し平均したものを指標グループのスコアとし、さらにそれらを合算して分野別スコアを算出した。合計スコアは、それらを合計して2,800点満点(経済・ビジネス600点、研究・開発200点、文化・交流500点、生活・居住700点、環境500点、交通・アクセス300点)で作成した。

分野	指標グループ	指標
経済・ビジネス	6 指標グループ	1 付加価値額
		2 地域内総支出
		3 昼夜間人口比率
		4 従業者数
		5 賃金水準
		6 高等教育修了者割合
		7 若手人材の転入出
		8 女性就業者割合
		9 外国人就業者割合
		10 高齢者就業率
		11 新規設立法人登記割合
		12 労働生産性
		13 完全失業率
		14 新規不動産業用建築物供給面積
		15 特区制度認定数
		16 対事業所サービス従業者割合
		17 フレキシブルワークスタイル実施率 
		18 財政力指数
		19 経常収支比率の低さ
		20 実質公債費比率の低さ
		21 将来負担比率の低さ
研究・開発	2 指標グループ	22 学術・開発研究機関従業者割合
		23 トップ大学数
		24 論文投稿数
		25 グローバルニッチトップ企業数
		26 特許取得数
文化・交流	5 指標グループ	27 観光地の数・評価
		28 文化財指定件数
		29 景観まちづくりへの積極度
		30 イベントの数
		31 クリエイティブ産業従業者割合
		32 文化・歴史・伝統への接触機会 
		33 宿泊施設客室数
		34 高級宿泊施設客室数
		35 イベントホール座席数
		36 観光案内所・病院の多言語対応
		37 休日の人の多さ
		38 行楽・観光目的の訪問の多さ
		39 国際会議・展示会開催件数
		40 観光客誘致活動
		41 自治体 SNS フォロワー数
		42 魅力度・認知度・観光意欲度 

分野	指標グループ	指標
生活・居住	7 指標グループ	43 刑法犯認知件数の少なさ
		44 交通事故死亡者数の少なさ
		45 災害時の安全性
		46 空家率の低さ
		47 医師の多さ
		48 病院・診療所・病床の多さ
		49 平均寿命・健康寿命
		50 合計特殊出生率
		51 育児・教育関連給付金の多さ
		52 子どもの医療費支援
		53 教育機会の多様性
		54 外国人住民の受入体制
		55 要支援・要介護高齢者の少なさ
		56 日常生活自立支援事業利用者数の多さ
		57 電子自治体推進度
		58 居住環境の満足度 
		59 新規住宅供給の多さ
		60 住宅の広さ
		61 小売事業所密度
		62 飲食店舗密度
		63 コンビニ密度
環境	5 指標グループ	64 可処分所得
		65 物価水準の低さ
		66 住宅コストの低さ
		67 昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ
		68 再生可能エネルギー自給率
		69 一人一日あたりゴミの排出量の少なさ
		70 リサイクル率
		71 自然環境の満足度 
		72 都市地域緑地率
		73 水辺の充実度
		74 年間日照時間
		75 夏の涼しさ
交通・アクセス	3 指標グループ	76 冬の暖かさ
		77 空気のきれいさ
		78 街路の清潔さ 
		79 快適性の満足度 
		80 公共交通の利便性 
		81 鉄道駅・バス停密度
		82 交通渋滞の少なさ
		83 空港アクセス時間の短さ
		84 新幹線の利用のしやすさ
		85 インターチェンジ数
		86 通勤時間の短さ
		87 自転車の利用のしやすさ 

○ : アンケートに基づく指標

1 大阪市

OSAKA

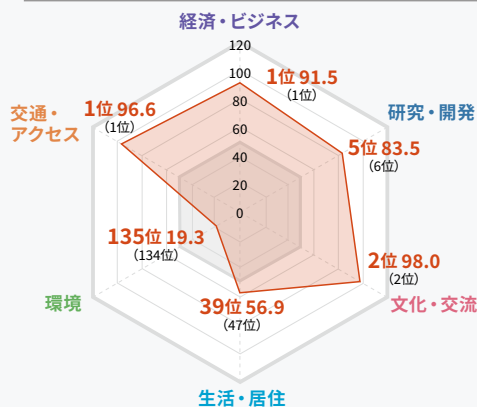


写真提供: Loco - stock.adobe.com

経済・交通で盤石の首位を誇る西日本の中枢都市

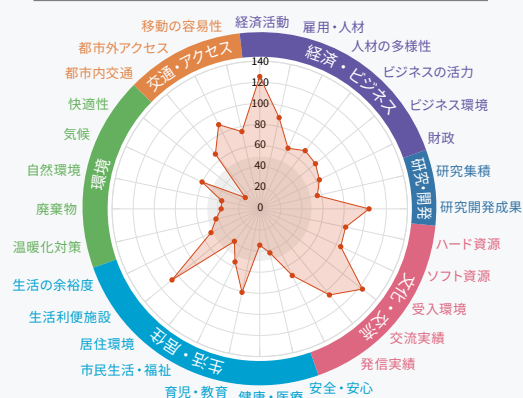
大阪府は今年も合計スコアで首位を維持し、**経済・ビジネス**と**交通・アクセス**は分野別1位を堅持した。**研究・開発**は論文投稿数やトップ大学数で評価を上げたことで6位から5位に上昇した。**経済・ビジネス**の「財政」も21位から8位へと躍進し、財政基盤の強さがうかがえる。また、**生活・居住**では、「生活の余裕度」の評価が改善した。**文化・交流**においても安定した強さを発揮しているが、観光客誘致活動は順位を落とすなど、万博以降の発信力の強化が期待される。

分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



2026 指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

2 名古屋市

NAGOYA

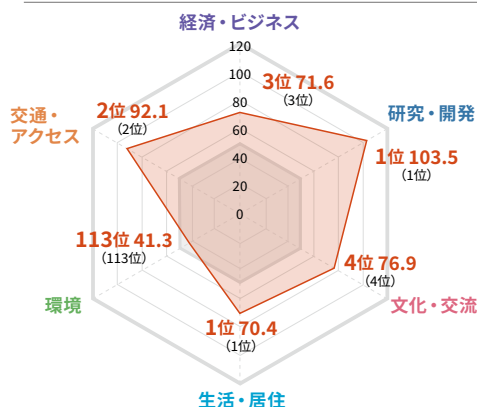


写真提供: Shin.S - stock.adobe.com

研究・開発と住みやすさを兼ね備えた東海の知の拠点

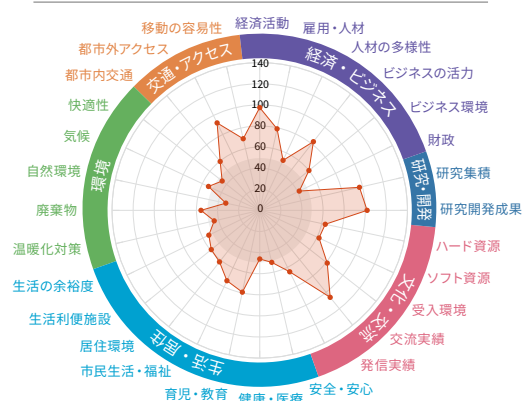
研究・開発と**生活・居住**の両分野で首位を維持した名古屋市は、合計スコアでも今年も2位を堅持した。**研究・開発**ではトップ大学数が1位、論文投稿数・特許取得数ともに2位と高水準を保った。**生活・居住**では「居住環境」や「生活の余裕度」が大きく改善している。また、**交通・アクセス**の「都市外アクセス」は首位に、**文化・交流**の「発信実績」は21位から14位に躍進した。一方、**生活・居住**の「安全・安心」や「育児・教育」では評価を落としており、これらの指標を高める施策が今後の焦点となる。

分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



2026 指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

3 福岡市

FUKUOKA

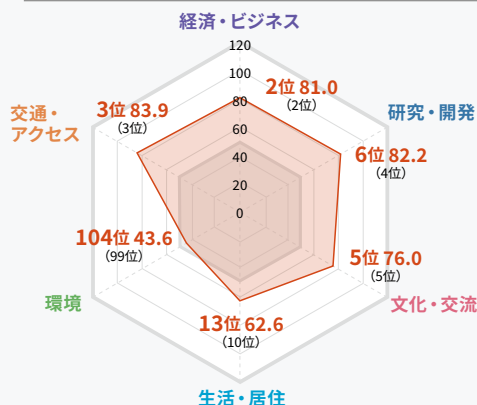


写真提供: moonrise - stock.adobe.com

ビジネス創出力と交流実績で存在感を高める活力ある都市

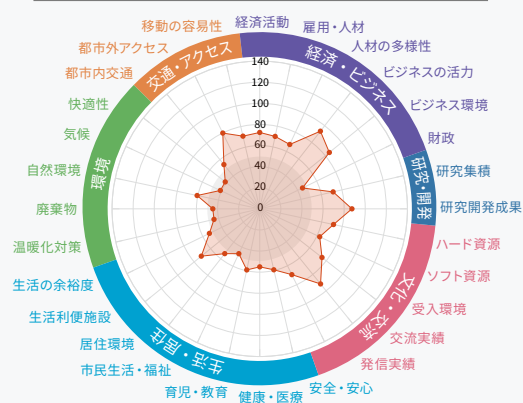
福岡市は、**経済・ビジネス**分野での高い競争力を背景に、合計スコアで3位を維持した。特区制度認定数、新規設立法人登記割合はいずれも1位を堅持し、「ビジネス環境」の順位を上げた。**文化・交流**では行楽・観光目的の訪問の多さと、国際会議・展示会開催件数においてスコアを伸ばし、「交流実績」が5位から4位に改善した。一方、**生活・居住**では可処分所得や物価水準の低下における評価の低下が影響し、「生活の余裕度」のスコアをわずかに落とした。生活の質のさらなる向上が今後の課題といえる。

分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



2026 指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

合計スコアの上位20都市について、分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。 ※偏差値は対象の136都市内で算出。また、グラフの形は偏差値を表す。

4

横浜市

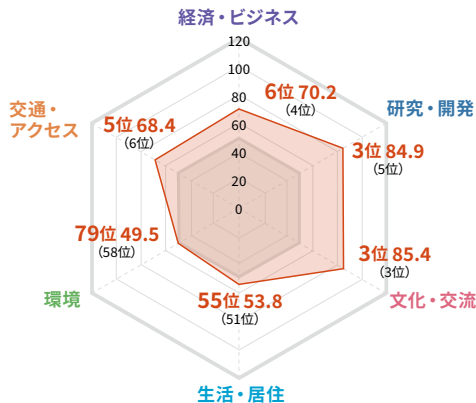
YOKOHAMA

写真提供：竹澤宏・stock.adobe.com

文化とイノベーションが共存する都市

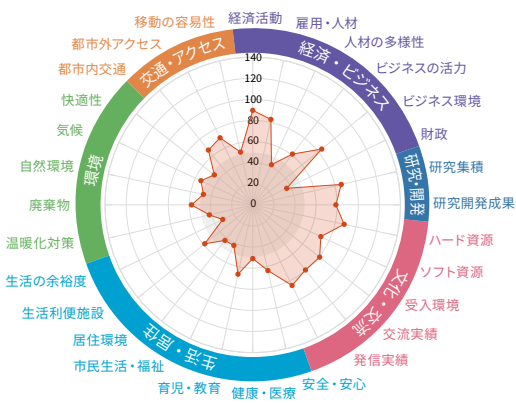
4位の横浜市は、**文化・交流**で引き続き高い評価を獲得したほか、**研究・開発**でも順位をあげるなど、強みの幅を広げた。**文化・交流**では、景観まちづくりへの積極度と自治体SNSフォロワー数がともに1位、魅力度・認知度・観光意欲度も3位と多面的に安定した評価を得ている。**研究・開発**では、トップ大学数と論文投稿数のスコアの伸びが、分野順位を3位へ押し上げた。**生活・居住**では、子どもの医療費支援において他都市の伸びによる相対的な順位低下がみられ、「育児・教育」の評価も3位から6位へと後退した。

分野別の順位・偏差値



2026分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



5

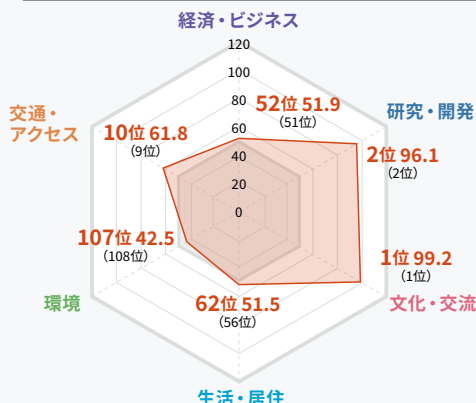
京都市

KYOTO

文化・交流の圧倒的な強みと研究力を誇る古都

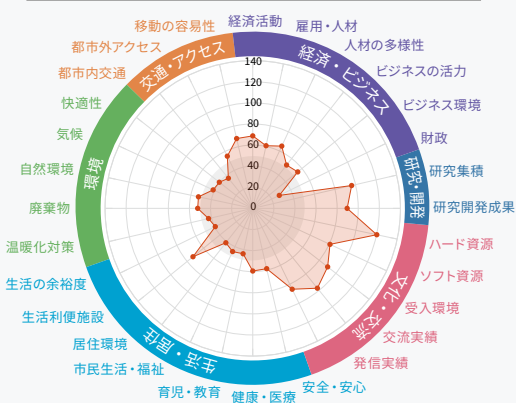
京都市は、**文化・交流**分野における圧倒的な優位性を維持し、合計スコアでも5位を保った。観光地の数・評価、文化財指定件数、魅力度・認知度・観光意欲度、国際会議・展示会開催件数はいずれも1位を維持し、観光客誘致活動も11位から6位に躍進した。**研究・開発**では、論文投稿数で首位を維持した。一方、**生活・居住**では、子どもの医療費支援や可処分所得といった指標でスコアを落としたことで、分野の順位を下げた。市民の生活の余裕度の改善を通じて今後の順位向上が期待される。

分野別の順位・偏差値



2026分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



6

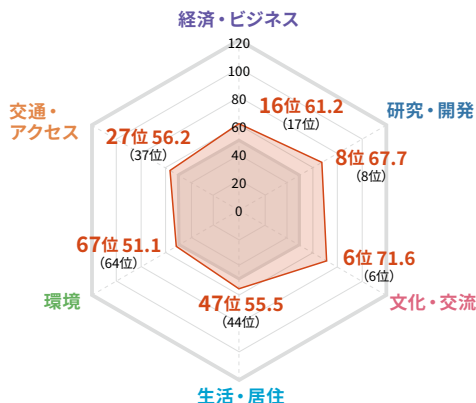
神戸市

KOBE

研究・交流・交通でバランスよく強みを高める港湾都市

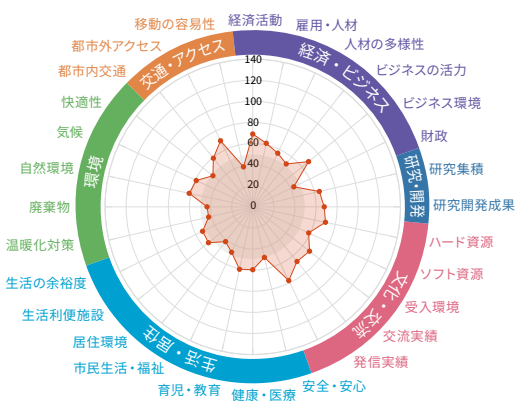
神戸市は今年も合計スコアで6位を維持し、**研究・開発**では「研究集積」が8位から7位に向上した。強みの**文化・交流**では「ソフト資源」における文化・歴史・伝統への接触機会や「発信実績」の自治体SNSフォロワー数の評価が高まり、6位を維持した。**交通・アクセス**は37位から27位へと躍進し、公共交通の利便性や自転車の利用しやすさが向上している。一方、「育児・教育」は15位から25位へと後退し、特に子どもの医療費支援の順位低下が響いた。住みやすさのさらなる充実が今後の課題といえる。

分野別の順位・偏差値



2026分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



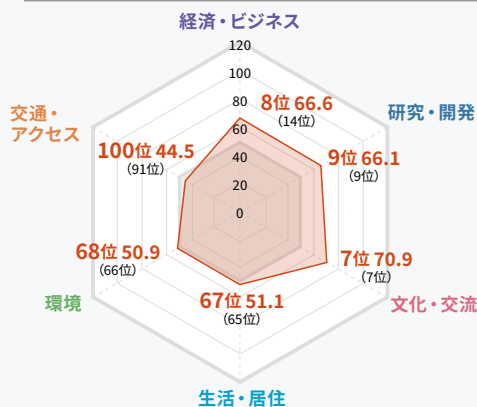
札幌市

SAPPORO

経済力と観光発信力で躍進を遂げた北の中核都市

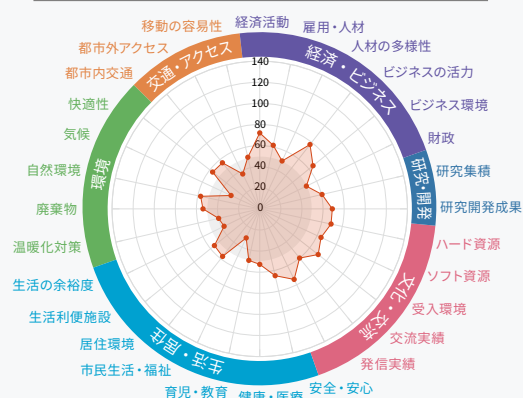
札幌市は合計スコアの順位を9位から7位へと大きく伸ばした。その要因は14位から8位に躍進した**経済・ビジネス**であり、なかでも「ビジネスの活力」の評価が急上昇するなど、都市開発の勢いが際立つ。強みである**文化・交流**では、観光客誘致活動などの評価向上により、「発信実績」が11位から5位に改善した。一方、**交通・アクセス**はスコアを落としており、地理的条件により交通インフラ整備には一定の制約が存在するものの、都市間・都市内のアクセス整備が今後も課題である。

分野別の順位・偏差値



2026分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



2026指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

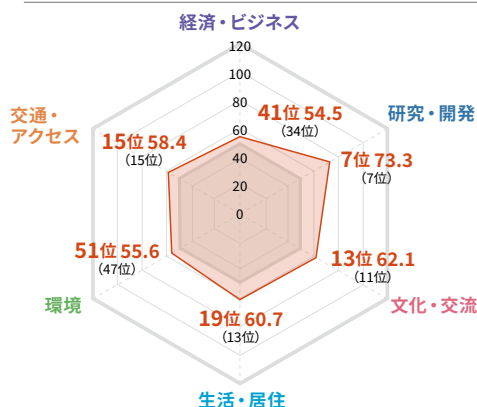
仙台市

SENDAI

研究・開発と安全性の強みを守る学都

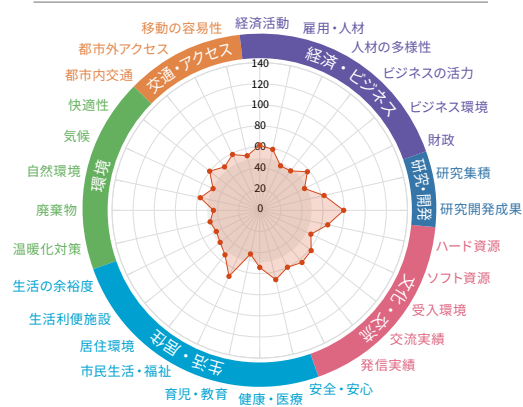
仙台市は合計スコアを7位から8位へと落とした。**研究・開発**は7位を維持し、グローバルニッチトップ企業数は4位を堅持するなど学術・産業都市としての底力は変わらない。**交通・アクセス**も15位を維持し、**文化・交流**の景観まちづくりへの積極度は3位と高評価を保った。一方、**生活・居住**は13位から19位へと後退した。子供の医療費支援が相対的に評価を下げたことで、「育児・教育」が66位から107位へと後退した。生活環境の整備と行政サービスの向上が急務といえる。

分野別の順位・偏差値



2026分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



2026指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

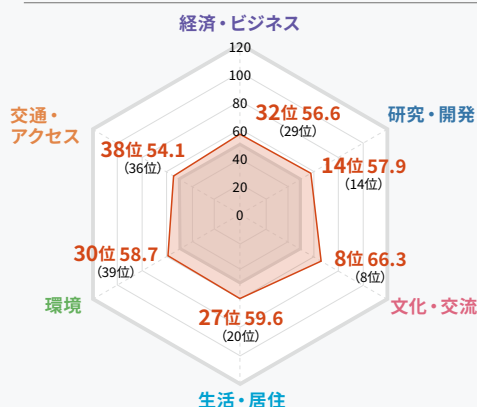
金沢市

KANAZAWA

文化的魅力と環境の快適さを両立する加賀百万石の都

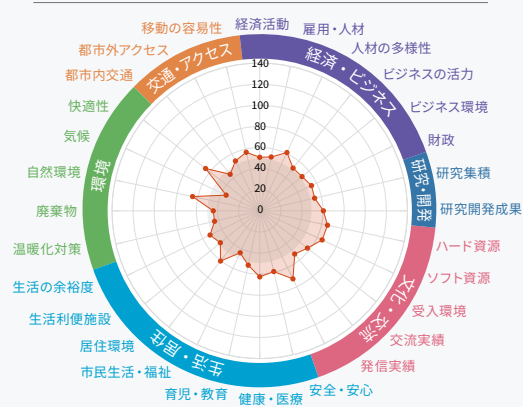
暮らしの中に伝統が生きる都市・金沢市は、今年も**文化・交流**において強みをみせた。なかでも、文化・歴史・伝統への接触機会が4位、魅力度・認知度・観光意欲度が6位、観光客誘致活動が8位といずれも高順位を維持している。また、イベントの数48位から21位へと大幅に向上したことで、「ソフト資源」が8位から7位に改善した。**環境**では、空気のきれいさで評価を上げたことで、「快適性」が6位から1位へと向上した。優れた景観と豊かな自然環境を生かした、さらなるまちづくりの発展に期待する。

分野別の順位・偏差値



2026分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



2026指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

10 広島市

HIROSHIMA

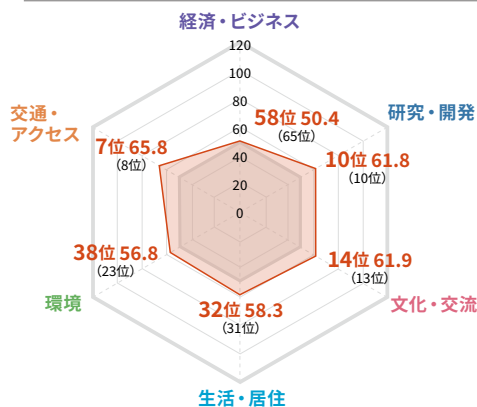


写真提供：竹澤宏・stock.adobe.com

研究・交通分野で躍進する瀬戸内の玄関口

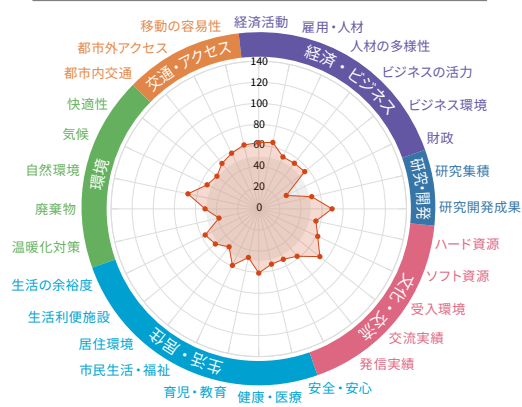
合計スコアを11位から10位へ伸ばした広島市は、最大の強みである**交通・アクセス**において、「都市内交通」、「都市外アクセス」とともに安定した評価を得ており、交通総合力の高さをみせている。また**研究・開発**も高水準を維持しており、特にグローバルニッチトップ企業数は5位、論文投稿数は12位を獲得するなど、広島市における研究開発機能の充実がうかがえる。昨年大きく順位を上げた**環境**は38位へ後退したものの、都市地域緑地率や水辺の充実度を含む「自然環境」はなお高い順位を示している。

分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



11 松本市

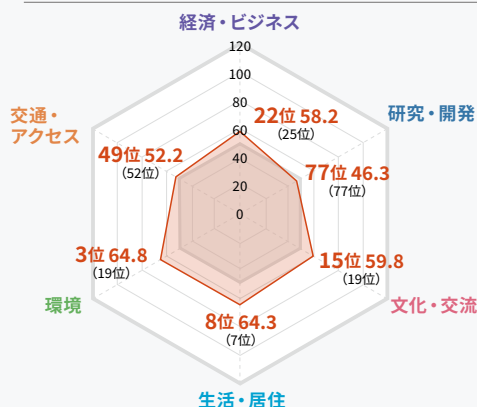
MATSUMOTO



環境と文化・観光の魅力が急伸した高原の健康都市

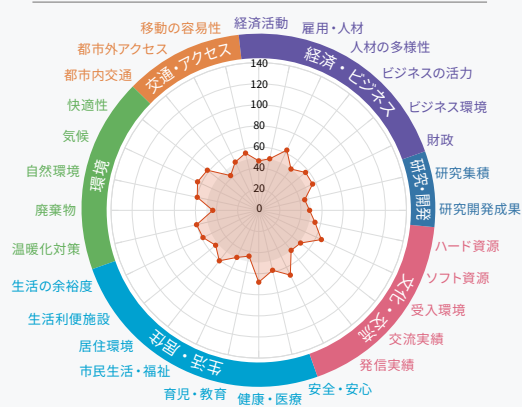
松本市は今年、4つの分野で順位を上げた。最も躍進した**環境**では、空気のきれいさや年間日照時間のスコアの上昇が、分野の評価を押し上げる要因となった。**文化・交流**も19位から15位に改善し、観光客誘致活動が3位から1位に躍進、イベントの数も72位から23位へと大幅に向上した。最大の強みである**生活・居住**は7位から8位へわずかに順位を落したものの、豊富な医療資源という基盤に加え、行政による医療・健康増進への積極的な取り組みが、生活環境の総合力を支える一因となっている。

分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値



12 つくば市

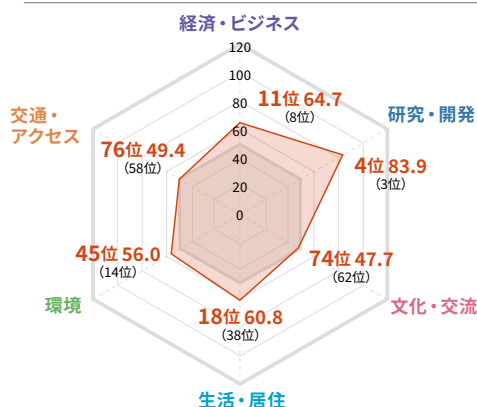
TSUKUBA



研究集積の首位を守りつつ生活の質で躍進する学園都市

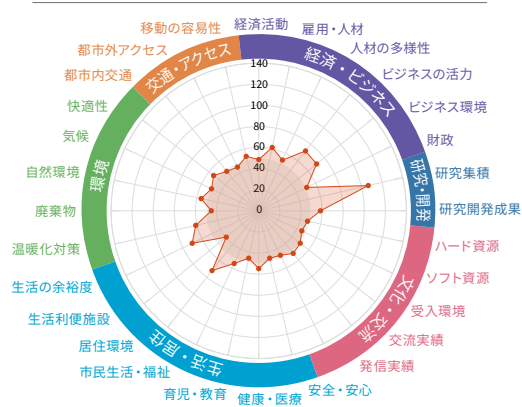
つくば市は合計スコアの順位を10位から12位へとわずかに落とした。**研究・開発**は4位に後退したものの、学術・開発研究機関従業者割合は1位を堅持した。**経済・ビジネス**においては、「ビジネスの活力」および「ビジネス環境」の両グループもそれぞれ4位と5位を維持した。**生活・居住**は38位から18位へと大幅に躍進した。「生活の余裕度」が8位から3位へと向上し、可処分所得が4位、物価水準の低さも6位と経済的な住みやすさが際立つ。「居住環境」も6位から4位に改善した。

分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値50ライン () 2025の順位

指標グループ別の偏差値

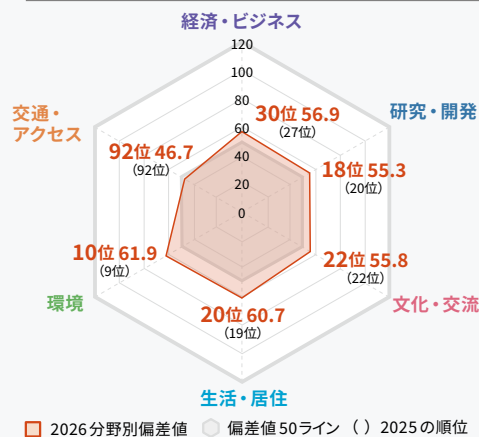


13 浜松市

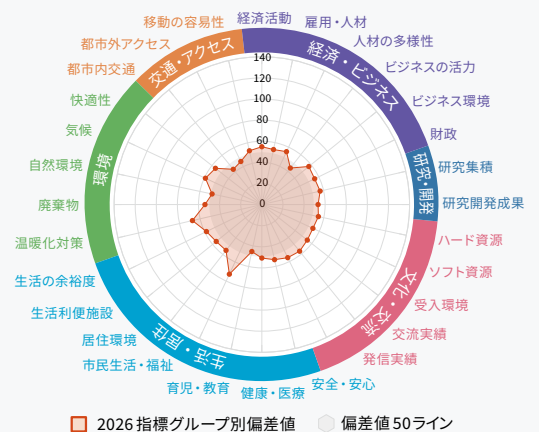
HAMAMATSU



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

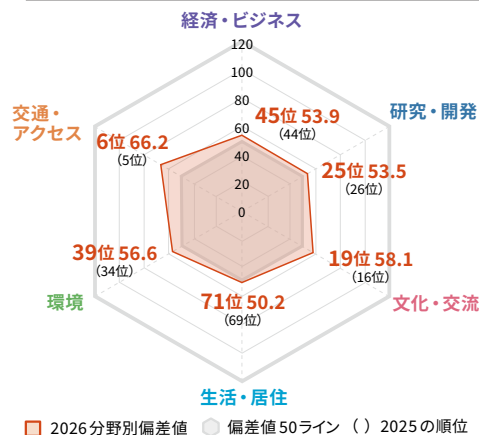


14 静岡市

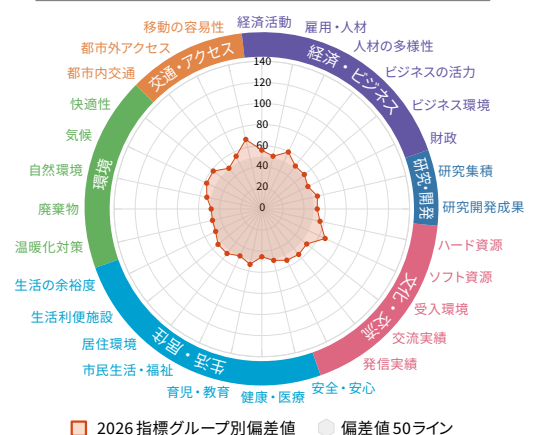
SHIZUOKA



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



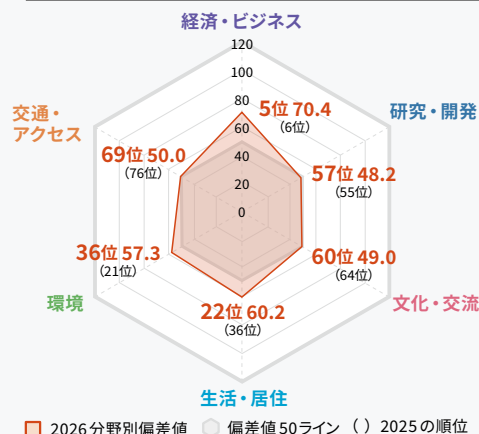
15 豊田市

TOYOTA

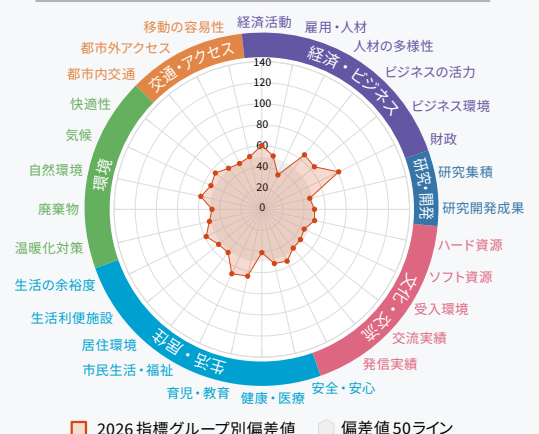


写真提供：豊田市

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

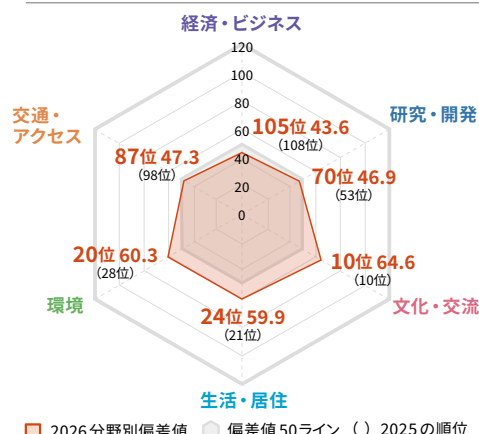


16 奈良市

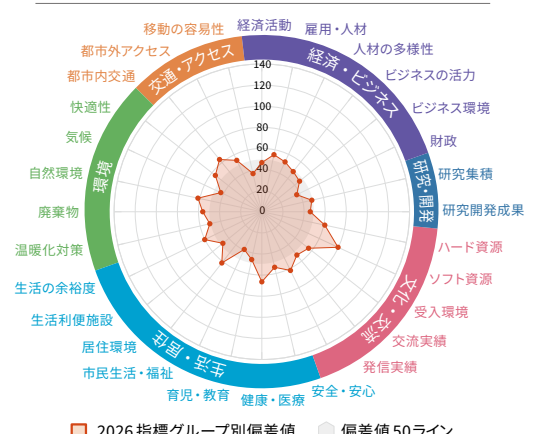
NARA



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

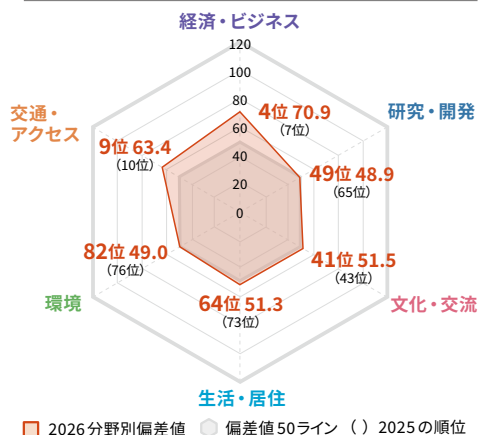


17 浦安市

URAYASU

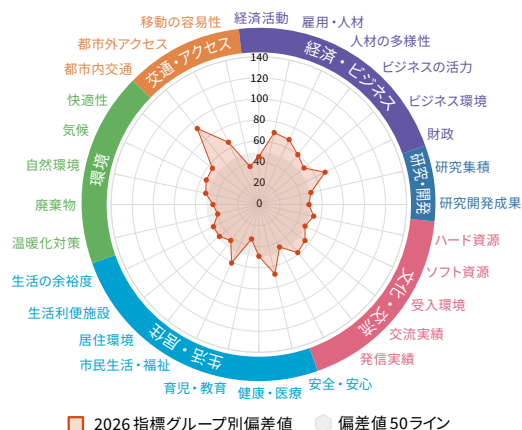


分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値 50 ライン () 2025 の順位

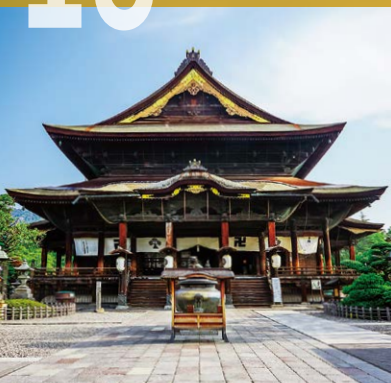
指標グループ別の偏差値



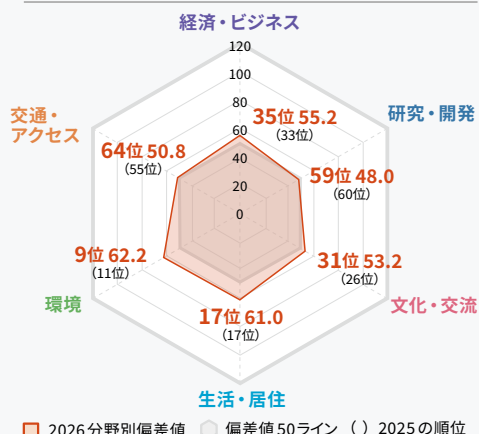
2026 指標グループ別偏差値 偏差値 50 ライン

18 長野市

NAGANO

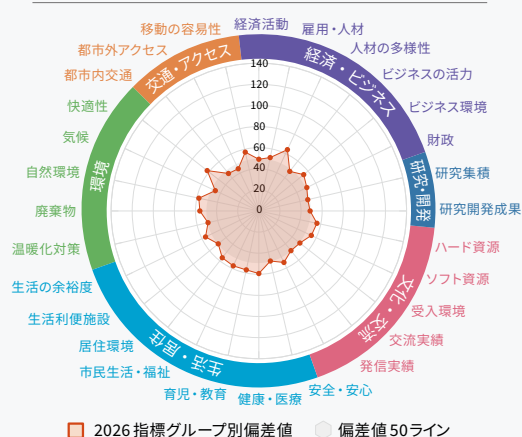


分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値 50 ライン () 2025 の順位

指標グループ別の偏差値



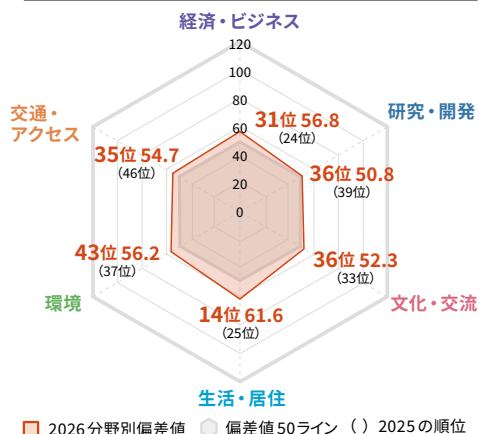
2026 指標グループ別偏差値 偏差値 50 ライン

19 岐阜市

GIFU

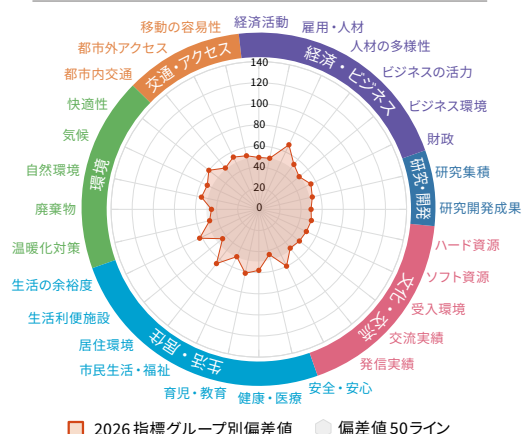


分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値 50 ライン () 2025 の順位

指標グループ別の偏差値



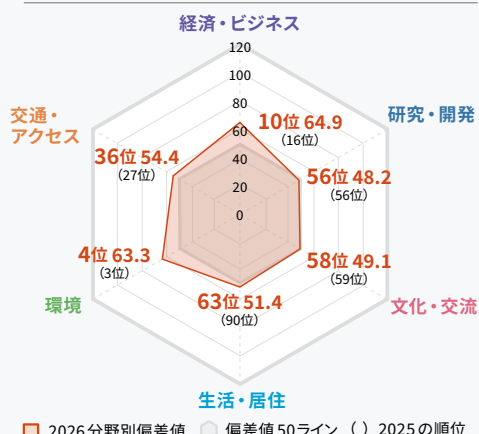
2026 指標グループ別偏差値 偏差値 50 ライン

20 府中市

FUCHU

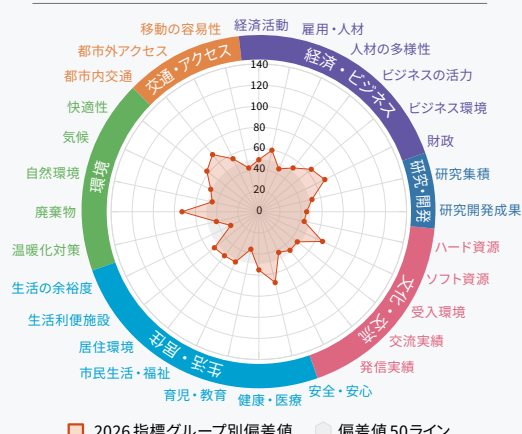


分野別の順位・偏差値



2026 分野別偏差値 偏差値 50 ライン () 2025 の順位

指標グループ別の偏差値



2026 指標グループ別偏差値 偏差値 50 ライン

分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	279.2	41	仙台市	165.4
2	福岡市	247.0	42	町田市	165.1
3	名古屋市	218.0	43	習志野市	164.7
4	浦安市	216.0	44	川口市	164.2
5	豊田市	214.3	45	静岡市	163.8
6	横浜市	213.9	46	厚木市	161.9
7	安城市	207.8	47	豊川市	160.8
8	札幌市	202.6	48	藤沢市	159.6
9	三鷹市	197.9	49	高槻市	159.3
10	府中市	197.6	50	豊橋市	158.7
11	つくば市	196.8	51	八千代市	157.6
12	川崎市	194.4	52	京都市	157.4
13	立川市	194.0	53	佐賀市	157.4
14	小平市	193.5	54	宝塚市	156.3
15	調布市	191.9	55	久留米市	155.7
16	神戸市	186.0	56	相模原市	155.6
17	鎌倉市	185.8	57	小田原市	154.4
18	さいたま市	183.1	58	広島市	152.8
19	岡崎市	179.8	59	松戸市	152.7
20	吹田市	178.9	60	姫路市	152.4
21	四日市市	178.2	61	宮崎市	150.8
22	松本市	176.7	62	尼崎市	150.7
23	柏市	176.3	63	鈴鹿市	150.7
24	日野市	175.9	64	甲府市	150.4
25	市川市	174.8	65	茅ヶ崎市	150.1
26	茨木市	174.2	66	所沢市	149.4
27	岡山市	173.8	67	沼津市	149.1
28	八王子市	173.3	68	春日井市	148.2
29	西宮市	172.9	69	熊本市	147.1
30	浜松市	172.9	70	福井市	147.1
31	岐阜市	172.6	71	熊谷市	146.5
32	金沢市	171.9	72	太田市	146.4
33	西東京市	170.2	73	那覇市	146.1
34	流山市	169.1	74	高崎市	145.9
35	長野市	167.7	75	津市	144.7
36	豊中市	167.1	76	鹿児島市	144.6
37	大津市	166.2	77	一宮市	144.2
38	船橋市	166.2	78	高松市	144.1
39	東広島市	166.0	79	大分市	143.7
40	福山市	165.9	80	千葉市	143.2

81
136
函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,福島市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,伊勢崎市,川越市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,横須賀市,平塚市,大和市,新潟市,長岡市,上越市,富山市,富士市,宇治市,堺市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,倉敷市,呉市,下関市,山口市,徳島市,松山市,高知市,北九州市,長崎市,佐世保市

(市区町村コード順)



研究・開発

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	109.9	41	東広島市	12.7
2	京都市	96.5	42	高槻市	12.6
3	横浜市	76.2	43	福島市	12.5
4	つくば市	74.4	44	茨木市	12.1
5	大阪市	73.6	45	佐賀市	11.9
6	福岡市	71.3	46	豊橋市	11.7
7	仙台市	55.3	47	長岡市	11.6
8	神戸市	45.2	48	藤沢市	11.6
9	札幌市	42.4	49	浦安市	11.4
10	広島市	34.6	50	和歌山市	11.3
11	八王子市	30.0	51	津市	11.2
12	厚木市	28.5	52	富山市	11.2
13	吹田市	27.6	53	相模原市	11.0
14	金沢市	27.5	54	久留米市	10.7
15	岡山市	26.2	55	松山市	10.7
16	新潟市	26.0	56	府中市	10.1
17	北九州市	24.0	57	豊田市	10.0
18	浜松市	23.0	58	市川市	9.7
19	さいたま市	22.9	59	長野市	9.6
20	千葉市	22.8	60	前橋市	9.5
21	熊本市	21.1	61	福井市	9.4
22	宇都宮市	20.9	62	岡崎市	9.2
23	川崎市	20.9	63	鎌倉市	9.0
24	調布市	20.6	64	日立市	9.0
25	静岡市	19.6	65	盛岡市	8.9
26	宇治市	19.5	66	堺市	8.5
27	大津市	18.2	67	松戸市	8.1
28	長崎市	17.5	68	川越市	8.0
29	秋田市	17.3	69	松江市	8.0
30	函館市	16.9	70	奈良市	7.8
31	柏市	16.7	71	平塚市	7.8
32	枚方市	16.4	72	倉敷市	7.3
33	宮崎市	15.1	73	高知市	7.3
34	豊中市	15.0	74	町田市	7.2
35	高松市	14.7	75	習志野市	7.0
36	岐阜市	14.7	76	甲府市	6.8
37	徳島市	14.6	77	松本市	6.6
38	西宮市	14.5	78	横須賀市	6.5
39	鹿児島市	14.3	79	大分市	6.4
40	三鷹市	13.6	80	船橋市	6.4

81
136
旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,山形市,郡山市,いわき市,水戸市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,流山市,八千代市,立川市,小平市,日野市,西東京市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,沼津市,富士市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,宝塚市,鳥取市,出雲市,呉市,福山市,下関市,山口市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)



文化・交流

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	314.9	41	浦安市	78.8
2	大阪市	308.8	42	小田原市	78.7
3	横浜市	246.5	43	大分市	77.3
4	名古屋市	204.4	44	鳥取市	77.2
5	福岡市	200.0	45	沼津市	73.9
6	神戸市	178.2	46	宮崎市	73.8
7	札幌市	175.1	47	高知市	72.5
8	金沢市	152.1	48	徳島市	71.9
9	長崎市	143.8	49	川崎市	71.4
10	奈良市	143.8	50	いわき市	71.4
11	那覇市	139.5	51	宇治市	70.9
12	北九州市	133.2	52	堺市	70.7
13	仙台市	131.3	53	長岡市	69.7
14	広島市	130.1	54	甲府市	69.5
15	松本市	120.0	55	岡崎市	68.8
16	姫路市	115.3	56	佐世保市	68.4
17	鎌倉市	115.0	57	山口市	68.4
18	函館市	112.6	58	府中市	67.2
19	静岡市	111.7	59	山形市	66.4
20	鹿児島市	109.0	60	豊田市	66.3
21	熊本市	103.7	61	秋田市	66.2
22	浜松市	100.2	62	旭川市	64.6
23	盛岡市	97.2	63	佐賀市	63.5
24	倉敷市	97.0	64	青森市	63.0
25	松山市	96.3	65	津市	62.5
26	出雲市	91.6	66	宝塚市	62.2
27	大津市	88.9	67	福島市	62.1
28	下関市	88.1	68	久留米市	62.0
29	和歌山市	87.6	69	西宮市	61.7
30	高松市	87.5	70	横須賀市	61.5
31	長野市	87.4	71	高崎市	60.9
32	富山市	86.3	72	福井市	60.8
33	岡山市	84.3	73	宇都宮市	60.6
34	さいたま市	83.7	74	つくば市	60.1
35	川崎市	82.9	75	藤沢市	59.9
36	岐阜市	82.9	76	郡山市	59.4
37	新潟市	82.7	77	八王子市	58.0
38	水戸市	82.5	78	明石市	56.3
39	千葉市	82.1	79	福山市	55.6
40	松江市	80.7	80	呉市	54.6

81
136

苫小牧市, 八戸市, 日立市, 前橋市, 伊勢崎市, 太田市, 熊谷市, 川口市, 所沢市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 習志野市, 柏市, 市原市, 流山市, 八千代市, 立川市, 三鷹市, 調布市, 町田市, 小平市, 日野市, 西東京市, 相模原市, 平塚市, 茅ヶ崎市, 厚木市, 大和市, 上越市, 富士市, 豊橋市, 一宮市, 春日井市, 豊川市, 安城市, 四日市市, 鈴鹿市, 岸和田市, 豊中市, 吹田市, 高槻市, 枚方市, 茨木市, 八尾市, 寝屋川市, 和泉市, 東大阪市, 尼崎市, 伊丹市, 加古川市, 東広島市

(市区町村コード順)



生活・居住

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	346.8	41	富山市	311.3
2	福井市	342.2	42	新潟市	311.1
3	山形市	341.6	43	鳥取市	309.5
4	大分市	338.5	44	柏市	309.5
5	豊橋市	336.5	45	宝塚市	308.9
6	前橋市	332.0	46	藤沢市	308.9
7	安城市	331.8	47	神戸市	308.1
8	松本市	330.9	48	宮崎市	307.9
9	出雲市	330.8	49	久留米市	307.5
10	熊本市	329.8	50	盛岡市	307.2
11	豊中市	329.7	51	北九州市	306.9
12	吹田市	327.5	52	枚方市	305.1
13	福岡市	326.6	53	甲府市	304.6
14	岐阜市	324.0	54	高崎市	304.0
15	流山市	323.2	55	横浜市	303.6
16	高槻市	322.9	56	西宮市	302.8
17	長野市	322.5	57	長崎市	301.8
18	つくば市	321.9	58	茅ヶ崎市	300.9
19	仙台市	321.7	59	佐賀市	300.6
20	浜松市	321.5	60	高松市	300.1
21	岡崎市	321.2	61	秋田市	298.8
22	豊田市	320.4	62	京都市	297.7
23	宇都宮市	320.3	63	府中市	297.5
24	奈良市	319.6	64	浦安市	297.2
25	徳島市	319.4	65	津市	296.9
26	鹿児島市	318.8	66	長岡市	296.6
27	金沢市	318.8	67	札幌市	296.6
28	岡山市	317.7	68	小平市	296.0
29	三鷹市	317.0	69	水戸市	294.9
30	豊川市	316.9	70	山口市	294.7
31	春日井市	316.8	71	静岡市	294.3
32	広島市	315.4	72	鎌倉市	294.2
33	大津市	315.2	73	松山市	293.6
34	明石市	315.1	74	川崎市	293.5
35	所沢市	315.0	75	東広島市	293.4
36	さいたま市	313.8	76	千葉市	292.0
37	茨木市	313.5	77	和歌山市	290.1
38	一宮市	312.0	78	伊丹市	290.0
39	大阪市	311.8	79	八千代市	289.0
40	松江市	311.7	80	福島市	288.5

81
136

函館市, 旭川市, 苫小牧市, 青森市, 八戸市, 郡山市, いわき市, 日立市, 伊勢崎市, 太田市, 熊谷市, 川口市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 習志野市, 市原市, 八王子市, 立川市, 調布市, 町田市, 日野市, 西東京市, 川崎市, 相模原市, 横須賀市, 平塚市, 小田原市, 厚木市, 大和市, 上越市, 沼津市, 富士市, 四日市市, 鈴鹿市, 宇治市, 堺市, 岸和田市, 八尾市, 寝屋川市, 和泉市, 東大阪市, 姫路市, 尼崎市, 加古川市, 倉敷市, 呉市, 福山市, 下関市, 高知市, 佐世保市, 那覇市

(市区町村コード順)

136
都市
分野別
スコア

分野別スコア

Function-Specific Scores



環境

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	鎌倉市	311.3	41	日立市	278.4
2	日野市	304.0	42	佐賀市	278.4
3	松本市	301.4	43	岐阜市	277.8
4	府中市	297.3	44	平塚市	277.4
5	松江市	297.2	45	つくば市	277.3
6	調布市	296.2	46	茅ヶ崎市	277.2
7	高崎市	295.5	47	高松市	276.9
8	豊橋市	294.5	48	和泉市	276.7
9	長野市	294.3	49	沼津市	276.4
10	浜松市	293.6	50	立川市	276.2
11	大津市	292.6	51	仙台市	276.2
12	宮崎市	292.1	52	いわき市	275.2
13	山口市	292.1	53	岡崎市	274.7
14	三鷹市	290.9	54	秋田市	273.8
15	豊川市	290.8	55	西東京市	272.2
16	八王子市	290.2	56	安城市	270.7
17	盛岡市	290.1	57	枚方市	270.5
18	東広島市	289.7	58	徳島市	269.8
19	前橋市	289.3	59	呉市	269.1
20	奈良市	289.0	60	水戸市	269.1
21	宝塚市	288.2	61	高知市	267.7
22	出雲市	287.8	62	山形市	266.6
23	松山市	287.7	63	町田市	266.2
24	鳥取市	287.4	64	豊中市	265.4
25	小平市	286.9	65	春日井市	265.3
26	富山市	286.8	66	吹田市	263.9
27	津市	285.9	67	神戸市	263.8
28	西宮市	285.7	68	札幌市	263.4
29	高槻市	284.9	69	姫路市	263.3
30	金沢市	284.7	70	伊丹市	262.6
31	宇治市	284.4	71	福井市	262.4
32	小田原市	283.8	72	和歌山市	261.7
33	横須賀市	283.5	73	熊本市	260.9
34	新潟市	282.3	74	佐世保市	260.8
35	流山市	281.6	75	宇都宮市	260.7
36	豊田市	280.9	76	岡山市	260.6
37	藤沢市	280.8	77	加古川市	260.5
38	広島市	279.5	78	明石市	260.4
39	静岡市	279.0	79	横浜市	259.4
40	所沢市	278.9	80	伊勢崎市	259.3

81
136
函館市、旭川市、苫小牧市、青森市、八戸市、福島市、郡山市、太田市、さいたま市、川崎市、熊谷市、川口市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、市原市、八千代市、浦安市、川崎市、相模原市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、甲府市、富士市、名古屋、一宮市、四日市市、鈴鹿市、京都市、大阪市、堺市、岸和田市、茨木市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、尼崎市、倉敷市、福山市、下関市、北九州市、福岡市、久留米市、長崎市、大分市、鹿児島市、那覇市

(市区町村コード順)



交通・アクセス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	206.4	41	川崎市	125.1
2	名古屋市	197.9	42	鳥取市	124.3
3	福岡市	182.4	43	四日市市	124.1
4	尼崎市	153.4	44	平塚市	124.0
5	横浜市	153.0	45	三鷹市	123.7
6	静岡市	148.8	46	一宮市	123.5
7	広島市	148.1	47	市原市	123.1
8	伊丹市	144.6	48	高松市	122.7
9	浦安市	143.5	49	松本市	122.4
10	京都市	140.5	50	寝屋川市	122.3
11	東大阪市	139.0	51	鈴鹿市	122.1
12	東広島市	136.6	52	高知市	121.7
13	豊中市	136.2	53	苫小牧市	121.6
14	堺市	134.3	54	福島市	121.6
15	仙台市	134.1	55	市川市	121.6
16	八尾市	133.8	56	和歌山市	121.3
17	青森市	133.0	57	富山市	121.2
18	北九州市	132.4	58	津市	121.0
19	盛岡市	131.8	59	宮崎市	120.7
20	新潟市	131.5	60	春日井市	120.6
21	函館市	131.4	61	八戸市	120.3
22	岸和田市	131.3	62	倉敷市	120.1
23	山口市	131.3	63	松江市	119.7
24	吹田市	131.0	64	長野市	119.6
25	久留米市	130.3	65	長岡市	119.3
26	秋田市	129.9	66	福井市	119.3
27	神戸市	129.9	67	郡山市	118.7
28	高槻市	129.5	68	和泉市	118.2
29	千葉市	129.4	69	豊田市	118.1
30	松山市	129.2	70	旭川市	118.1
31	鹿児島市	128.7	71	姫路市	118.0
32	茨木市	127.9	72	福山市	117.6
33	岡山市	127.5	73	川口市	117.4
34	佐賀市	127.1	74	山形市	117.4
35	岐阜市	127.0	75	呉市	117.3
36	府中市	126.4	76	つくば市	117.0
37	熊本市	126.1	77	岡崎市	116.4
38	金沢市	125.8	78	那覇市	115.7
39	立川市	125.8	79	安城市	115.7
40	西宮市	125.6	80	下関市	114.9

81
136
札幌市、いわき市、水戸市、日立市、宇都宮市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、さいたま市、川崎市、熊谷市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、八王子市、調布市、町田市、小平市、日野市、西東京市、相模原市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、上越市、甲府市、浜松市、沼津市、富士市、豊橋市、豊川市、大津市、宇治市、枚方市、明石市、加古川市、宝塚市、奈良市、出雲市、徳島市、長崎市、佐世保市、大分市

(市区町村コード順)

合計スコア

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	1,356.1	41	調布市	953.2
2	名古屋市	1,313.7	42	豊中市	949.9
3	福岡市	1,270.5	43	高松市	946.0
4	横浜市	1,252.5	44	出雲市	943.8
5	京都市	1,247.2	45	福井市	941.0
6	神戸市	1,111.1	46	立川市	939.5
7	札幌市	1,087.8	47	佐賀市	938.8
8	仙台市	1,084.0	48	東広島市	938.5
9	金沢市	1,080.9	49	大分市	936.8
10	広島市	1,060.5	50	鳥取市	935.5
11	松本市	1,058.0	51	豊川市	930.1
12	つくば市	1,047.3	52	八王子市	928.1
13	浜松市	1,023.2	53	長崎市	927.1
14	静岡市	1,017.2	54	山形市	926.2
15	豊田市	1,010.1	55	千葉市	925.8
16	奈良市	1,005.2	56	藤沢市	925.7
17	浦安市	1,004.8	57	姫路市	924.4
18	長野市	1,001.1	58	茨木市	924.3
19	岐阜市	998.9	59	津市	922.2
20	府中市	996.1	60	宝塚市	920.5
21	三鷹市	991.8	61	久留米市	917.6
22	岡山市	990.1	62	山口市	917.4
23	熊本市	988.7	63	宇都宮市	914.4
24	大津市	986.6	64	前橋市	913.5
25	鎌倉市	986.4	65	川崎市	913.3
26	吹田市	972.1	66	徳島市	912.5
27	岡崎市	970.1	67	高崎市	905.1
28	さいたま市	968.4	68	小平市	904.9
29	鹿児島市	967.0	69	小田原市	900.2
30	豊橋市	966.3	70	甲府市	893.5
31	西宮市	963.2	71	秋田市	893.4
32	宮崎市	960.4	72	水戸市	892.6
33	安城市	958.0	73	宇治市	891.8
34	北九州市	957.4	74	流山市	890.5
35	富山市	957.2	75	日野市	888.7
36	新潟市	957.1	76	倉敷市	886.1
37	高槻市	955.5	77	伊丹市	883.0
38	盛岡市	954.5	78	和歌山市	882.9
39	松山市	954.2	79	沼津市	882.6
40	松江市	953.2	80	春日井市	882.6

81
～
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,郡山市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,八千代市,町田市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,富士市,一宮市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,加古川市,呉市,福山市,下関市,高知市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では、「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコア算出のために、まずは、各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、87指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル

指標数25/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	54.7	41	鳥取市	45.9
2	豊中市	53.9	42	松山市	45.6
3	吹田市	52.2	43	流山市	45.6
4	浦安市	51.8	44	佐賀市	45.6
5	大阪市	51.7	45	青森市	45.5
6	福岡市	51.5	46	新潟市	45.3
7	西宮市	50.2	47	熊本市	45.3
8	三鷹市	50.1	48	山口市	45.3
9	高槻市	50.1	49	東広島市	45.3
10	茨木市	49.6	50	長野市	45.2
11	仙台市	49.5	51	高知市	45.2
12	府中市	49.2	52	山形市	45.2
13	広島市	49.1	53	春日井市	45.2
14	伊丹市	48.7	54	藤沢市	45.2
15	神戸市	48.4	55	宇都宮市	45.1
16	松本市	48.2	56	高松市	45.1
17	静岡市	48.1	57	豊田市	45.0
18	宝塚市	47.9	58	つくば市	45.0
19	奈良市	47.9	59	和泉市	45.0
20	豊橋市	47.7	60	市川市	44.9
21	盛岡市	47.7	61	久留米市	44.7
22	金沢市	47.6	62	松江市	44.6
23	岐阜市	47.4	63	和歌山市	44.6
24	横浜市	47.3	64	小平市	44.6
25	明石市	47.3	65	北九州市	44.5
26	浜松市	47.0	66	出雲市	44.5
27	岡崎市	47.0	67	さいたま市	44.5
28	安城市	47.0	68	千葉市	44.4
29	鹿児島市	46.9	69	所沢市	44.4
30	一宮市	46.5	70	習志野市	44.4
31	堺市	46.4	71	甲府市	44.4
32	調布市	46.4	72	日立市	44.2
33	福井市	46.4	73	豊川市	44.2
34	秋田市	46.3	74	津市	44.1
35	大分市	46.3	75	郡山市	44.1
36	枚方市	46.3	76	宇治市	44.0
37	宮崎市	46.2	77	長崎市	44.0
38	富山市	46.1	78	前橋市	43.9
39	岡山市	46.0	79	函館市	43.6
40	京都市	45.9	80	西東京市	43.5

81 札幌市、旭川市、苫小牧市、八戸市、福島市、いわき市、水戸市、高崎市、伊勢崎市、
太田市、川越市、熊谷市、川口市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、船橋市、松戸市、
柏市、市原市、八千代市、八王子市、立川市、町田市、日野市、川崎市、相模原市、
横須賀市、平塚市、鎌倉市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、
136 沼津市、富士市、四日市市、鈴鹿市、大津市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、
姫路市、尼崎市、加古川市、倉敷市、呉市、福山市、下関市、徳島市、佐世保市、那覇市

(市区町村コード順)



ファミリー

指標数42/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	52.9	41	つくば市	47.0
2	名古屋市	52.4	42	前橋市	47.0
3	仙台市	50.6	43	豊田市	47.0
4	豊中市	50.2	44	三鷹市	46.9
5	大阪市	50.1	45	札幌市	46.9
6	金沢市	50.1	46	高松市	46.8
7	高槻市	49.9	47	佐賀市	46.6
8	岐阜市	49.8	48	春日井市	46.6
9	盛岡市	49.7	49	安城市	46.6
10	松本市	49.7	50	岡崎市	46.5
11	新潟市	49.6	51	久留米市	46.4
12	神戸市	49.3	52	豊川市	46.4
13	広島市	49.3	53	宝塚市	46.3
14	豊橋市	49.2	54	明石市	46.3
15	熊本市	49.1	55	青森市	46.2
16	横浜市	49.1	56	長崎市	46.1
17	鳥取市	48.7	57	和歌山市	46.1
18	富山市	48.7	58	宇都宮市	46.0
19	宮崎市	48.6	59	京都市	45.9
20	松江市	48.6	60	高知市	45.9
21	出雲市	48.6	61	一宮市	45.9
22	鹿児島市	48.3	62	高崎市	45.8
23	福井市	48.2	63	流山市	45.8
24	吹田市	48.2	64	府中市	45.8
25	大分市	48.1	65	伊丹市	45.5
26	浦安市	48.1	66	津市	45.5
27	奈良市	48.1	67	さいたま市	45.4
28	西宮市	48.0	68	枚方市	45.4
29	茨木市	48.0	69	水戸市	45.4
30	山口市	48.0	70	千葉市	45.3
31	北九州市	47.8	71	和泉市	45.3
32	山形市	47.8	72	東広島市	45.2
33	静岡市	47.8	73	藤沢市	44.9
34	松山市	47.8	74	甲府市	44.7
35	秋田市	47.7	75	堺市	44.6
36	長野市	47.6	76	福島市	44.6
37	浜松市	47.4	77	長岡市	44.5
38	岡山市	47.2	78	小田原市	44.3
39	大津市	47.1	79	所沢市	44.2
40	徳島市	47.0	80	函館市	44.2

旭川市、苫小牧市、八戸市、郡山市、いわき市、日立市、伊勢崎市、太田市、川越市、熊谷市、
川口市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、
市原市、八千代市、八王子市、立川市、調布市、町田市、小平市、日野市、西東京市、川崎市、
相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、上越市、沼津市、富士市、
136 四日市市、鈴鹿市、宇治市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、姫路市、尼崎市、
加古川市、倉敷市、呉市、福山市、下関市、佐世保市、那覇市

(市区町村コード順)



シニア

指標数36/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	松本市	53.5	41	神戸市	47.9
2	仙台市	52.4	42	名古屋市	47.9
3	金沢市	51.5	43	徳島市	47.8
4	浦安市	51.4	44	久留米市	47.5
5	豊橋市	51.3	45	新潟市	47.5
6	出雲市	51.2	46	高知市	47.5
7	広島市	51.2	47	津市	47.4
8	盛岡市	50.8	48	宝塚市	47.3
9	福岡市	50.5	49	長崎市	47.3
10	長野市	50.4	50	秋田市	47.1
11	浜松市	50.4	51	鹿児島市	47.0
12	三鷹市	50.1	52	大津市	46.9
13	高槻市	50.1	53	岡山市	46.8
14	松江市	49.9	54	宇都宮市	46.8
15	宮崎市	49.8	55	札幌市	46.7
16	山形市	49.7	56	松山市	46.7
17	西宮市	49.6	57	調布市	46.6
18	吹田市	49.5	58	水戸市	46.5
19	前橋市	49.3	59	伊丹市	46.4
20	豊中市	49.2	60	枚方市	46.3
21	富山市	49.1	61	所沢市	46.3
22	山口市	49.0	62	高松市	46.2
23	岐阜市	49.0	63	京都市	46.2
24	府中市	48.9	64	明石市	46.1
25	豊田市	48.8	65	藤沢市	45.9
26	静岡市	48.8	66	平塚市	45.7
27	佐賀市	48.8	67	郡山市	45.7
28	茨木市	48.7	68	小平市	45.6
29	大分市	48.7	69	和泉市	45.5
30	つくば市	48.7	70	立川市	45.5
31	岡崎市	48.7	71	流山市	45.4
32	熊本市	48.6	72	宇治市	45.4
33	奈良市	48.5	73	小田原市	45.3
34	安城市	48.5	74	佐世保市	45.2
35	福井市	48.3	75	甲府市	45.2
36	鳥取市	48.3	76	福島市	45.1
37	高崎市	48.2	77	長岡市	45.1
38	豊川市	48.2	78	日立市	45.1
39	東広島市	48.2	79	一宮市	44.8
40	横浜市	48.0	80	八王子市	44.6

81 函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,いわき市,伊勢崎市,太田市,さいたま市,川越市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,八千代市,町田市,日野市,西東京市,川崎市,相模原市,横須賀市,鎌倉市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,沼津市,富士市,春日井市,136 四日市市,鈴鹿市,大阪市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,東大阪市,姫路市,尼崎市,加古川市,和歌山市,倉敷市,呉市,福山市,下関市,北九州市,那覇市
(市区町村コード順)



観光客

指標数35/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	53.3	41	岡山市	31.4
2	京都市	52.4	42	大分市	31.3
3	横浜市	50.1	43	宇治市	31.1
4	名古屋市	45.1	44	三鷹市	31.0
5	福岡市	45.0	45	さいたま市	31.0
6	神戸市	42.6	46	小田原市	31.0
7	金沢市	40.3	47	宝塚市	30.9
8	広島市	39.9	48	秋田市	30.8
9	奈良市	39.3	49	豊田市	30.7
10	札幌市	38.7	50	調布市	30.7
11	仙台市	38.7	51	佐賀市	30.7
12	松本市	37.3	52	水戸市	30.5
13	静岡市	37.1	53	高知市	30.5
14	盛岡市	36.4	54	山形市	30.5
15	浦安市	35.4	55	岡崎市	30.5
16	長崎市	35.3	56	倉敷市	30.4
17	北九州市	34.7	57	下関市	30.3
18	新潟市	34.1	58	藤沢市	30.2
19	鎌倉市	34.1	59	那覇市	30.1
20	出雲市	34.0	60	吹田市	29.8
21	松江市	33.6	61	徳島市	29.7
22	山口市	33.4	62	長岡市	29.6
23	大津市	33.3	63	八王子市	29.6
24	熊本市	33.2	64	東広島市	29.6
25	府中市	33.2	65	豊中市	29.4
26	長野市	33.1	66	横須賀市	29.4
27	鹿児島市	33.0	67	茨木市	29.4
28	函館市	33.0	68	沼津市	29.3
29	浜松市	32.9	69	豊橋市	29.3
30	西宮市	32.7	70	福井市	29.3
31	松山市	32.6	71	津市	29.3
32	岐阜市	32.6	72	伊丹市	29.2
33	姫路市	32.3	73	佐世保市	29.2
34	富山市	32.3	74	立川市	29.2
35	高槻市	32.1	75	川崎市	29.1
36	千葉市	32.1	76	青森市	28.9
37	高松市	31.8	77	つくば市	28.9
38	和歌山市	31.8	78	川越市	28.8
39	鳥取市	31.6	79	明石市	28.8
40	宮崎市	31.5	80	甲府市	28.7

旭川市,苫小牧市,八戸市,福島市,郡山市,いわき市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,富士市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,加古川市,呉市,福山市,久留米市
(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores



経営者

指標数36/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	56.4	41	船橋市	26.6
2	名古屋市	47.0	42	長野市	26.4
3	福岡市	45.5	43	鹿児島市	26.3
4	横浜市	40.1	44	高槻市	26.2
5	浦安市	36.9	45	豊橋市	26.1
6	京都市	36.1	46	流山市	26.1
7	札幌市	35.7	47	福山市	26.0
8	神戸市	34.9	48	川口市	25.9
9	仙台市	33.1	49	久留米市	25.9
10	豊田市	32.4	50	西東京市	25.8
11	川崎市	31.3	51	尼崎市	25.8
12	府中市	31.2	52	厚木市	25.7
13	安城市	31.1	53	北九州市	25.7
14	三鷹市	30.9	54	宝塚市	25.7
15	つくば市	30.6	55	鈴鹿市	25.6
16	吹田市	30.4	56	熊本市	25.5
17	金沢市	30.3	57	藤沢市	25.5
18	広島市	30.2	58	那覇市	25.5
19	さいたま市	30.0	59	宮崎市	25.4
20	調布市	29.8	60	福井市	25.4
21	立川市	29.5	61	郡山市	25.4
22	岡山市	29.2	62	佐賀市	25.4
23	静岡市	29.1	63	豊川市	25.4
24	西宮市	29.0	64	春日井市	25.3
25	四日市市	28.8	65	富山市	25.3
26	市川市	28.8	66	鎌倉市	25.2
27	浜松市	28.7	67	宇都宮市	25.2
28	豊中市	28.7	68	堺市	25.1
29	岐阜市	28.4	69	津市	25.0
30	松本市	28.2	70	伊丹市	25.0
31	岡崎市	28.0	71	町田市	24.8
32	茨木市	28.0	72	新潟市	24.7
33	小平市	27.9	73	倉敷市	24.6
34	大津市	27.4	74	高松市	24.6
35	東広島市	27.4	75	一宮市	24.6
36	千葉市	27.2	76	松山市	24.5
37	日野市	27.1	77	八千代市	24.4
38	八王子市	27.0	78	姫路市	24.3
39	柏市	27.0	79	甲府市	24.3
40	習志野市	26.8	80	相模原市	24.2

81 函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,松戸市,市原市,横須賀市,平塚市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,沼津市,富士市,宇治市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,明石市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,山口市,徳島市,高知市,長崎市,佐世保市,大分市

(市区町村コード順)



従業者

指標数19/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	51.8	41	伊丹市	32.2
2	名古屋市	45.8	42	川口市	32.2
3	福岡市	43.7	43	山口市	32.1
4	横浜市	40.1	44	出雲市	32.1
5	浦安市	39.6	45	盛岡市	32.0
6	広島市	36.8	46	宮崎市	31.8
7	川崎市	36.4	47	新潟市	31.6
8	京都市	36.4	48	山形市	31.6
9	三鷹市	35.9	49	津市	31.6
10	神戸市	35.5	50	堺市	31.5
11	豊中市	35.3	51	鳥取市	31.2
12	尼崎市	35.2	52	さいたま市	31.1
13	静岡市	35.1	53	四日市市	31.1
14	西宮市	35.0	54	高松市	31.1
15	鹿児島市	34.4	55	豊田市	30.9
16	府中市	34.2	56	札幌市	30.9
17	調布市	34.2	57	豊橋市	30.8
18	吹田市	34.0	58	高槻市	30.8
19	福井市	33.9	59	松山市	30.8
20	佐賀市	33.8	60	一宮市	30.7
21	久留米市	33.8	61	下関市	30.6
22	金沢市	33.7	62	奈良市	30.6
23	東広島市	33.7	63	東大阪市	30.5
24	岐阜市	33.6	64	秋田市	30.4
25	熊本市	33.5	65	八千代市	30.3
26	安城市	33.5	66	函館市	30.0
27	松本市	33.5	67	甲府市	30.0
28	市川市	33.3	68	日野市	29.9
29	高知市	33.0	69	八尾市	29.9
30	北九州市	32.8	70	長崎市	29.7
31	千葉市	32.8	71	岸和田市	29.7
32	富山市	32.7	72	春日井市	29.6
33	立川市	32.7	73	鈴鹿市	29.5
34	仙台市	32.7	74	浜松市	29.5
35	岡山市	32.6	75	岡崎市	29.5
36	つくば市	32.6	76	大津市	29.3
37	習志野市	32.4	77	船橋市	29.2
38	松江市	32.3	78	福山市	29.1
39	茨木市	32.3	79	和歌山市	29.0
40	長野市	32.2	80	福島市	29.0

旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八王子市,町田市,小平市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,藤沢市,小田原市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,沼津市,富士市,豊川市,宇治市,枚方市,寝屋川市,和泉市,姫路市,明石市,加古川市,宝塚市,倉敷市,呉市,徳島市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)

合計スコアの上位4区について、指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。

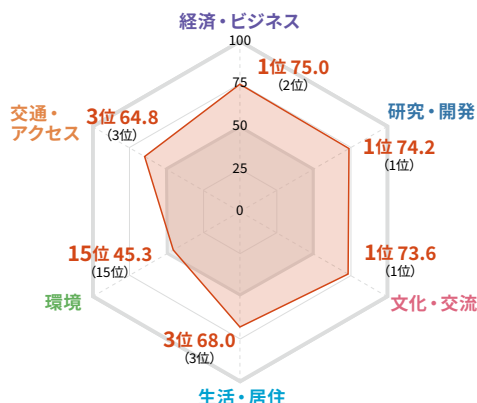
※偏差値は東京23区内で算出。また、グラフの形は偏差値を表す。

1 港区

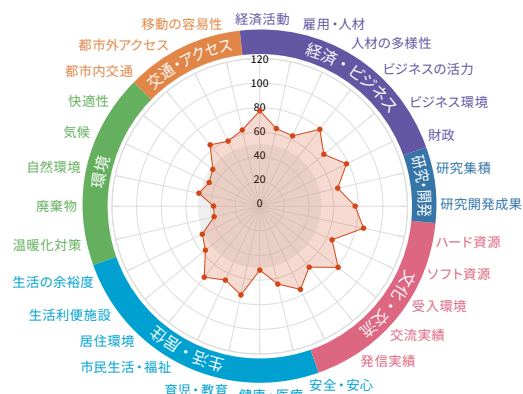
MINATO-CITY



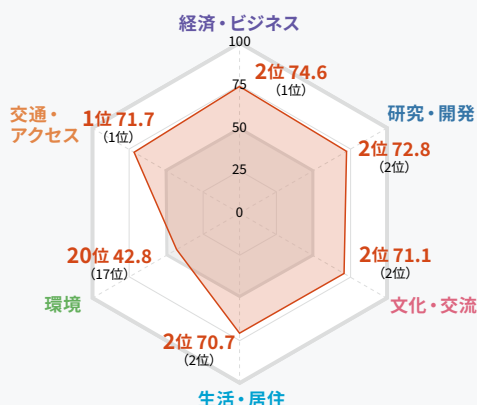
分野別の順位・偏差値



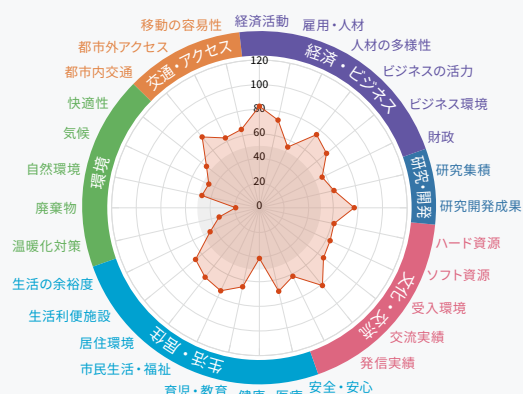
指標グループ別の偏差値



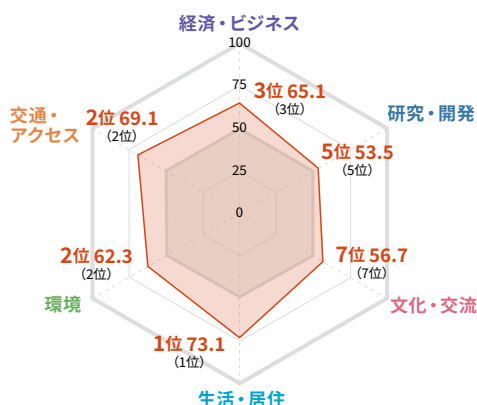
分野別の順位・偏差値



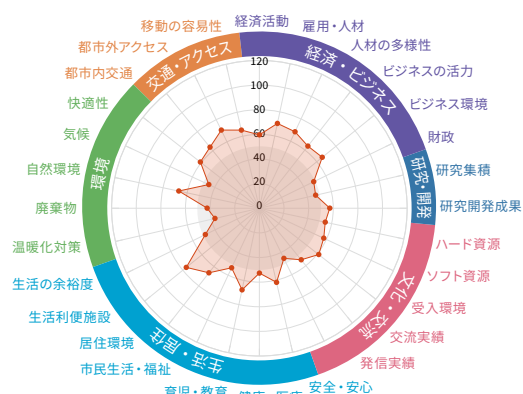
指標グループ別の偏差値



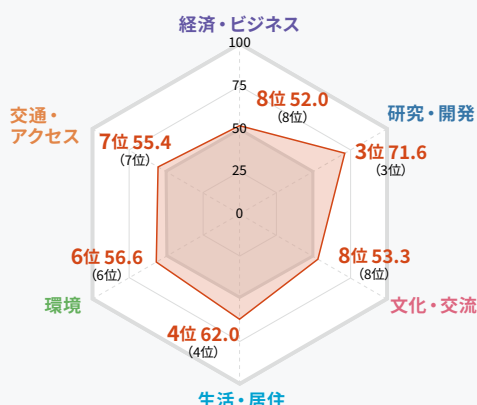
分野別の順位・偏差値



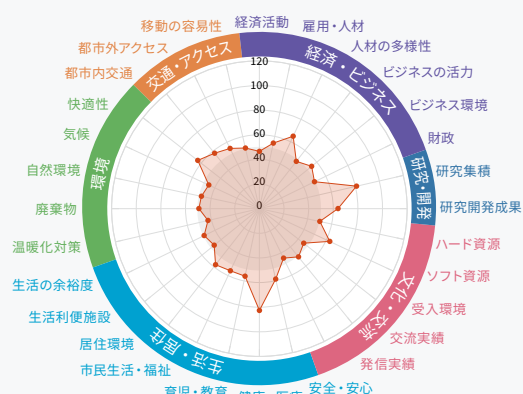
指標グループ別の偏差値



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



2 千代田区

CHIYODA-CITY



3 中央区

CHUO-CITY



写真提供：Caito - stock.adobe.com

4 文京区

BUNKYO-CITY



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア
1	港区	427.7
2	千代田区	425.1
3	中央区	358.2
4	渋谷区	322.2
5	新宿区	282.7
6	目黒区	273.6
7	品川区	272.5
8	文京区	266.5
9	豊島区	254.8
10	江東区	245.9
11	台東区	236.3
12	世田谷区	228.2
13	杉並区	226.4
14	中野区	225.8
15	墨田区	224.8
16 23	大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



研究・開発

順位	都市名	スコア
1	港区	81.4
2	千代田区	78.0
3	文京区	74.8
4	新宿区	56.0
5	中央区	29.8
6	目黒区	20.4
7	江東区	17.5
8	渋谷区	16.8
9	世田谷区	16.2
10	大田区	15.5
11	品川区	13.5
12	豊島区	13.1
13	板橋区	8.7
14	台東区	7.0
15	練馬区	4.8
16 23	墨田区, 中野区, 杉並区, 北区, 荒川区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



文化・交流

順位	都市名	スコア
1	港区	224.4
2	千代田区	210.7
3	渋谷区	160.1
4	江東区	153.1
5	新宿区	148.6
6	台東区	137.1
7	中央区	132.1
8	文京区	113.6
9	豊島区	97.1
10	品川区	95.6
11	墨田区	94.9
12	世田谷区	76.4
13	大田区	76.2
14	目黒区	68.8
15	杉並区	55.8
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



生活・居住

順位	都市名	スコア
1	中央区	408.5
2	千代田区	397.1
3	港区	384.2
4	文京区	356.1
5	渋谷区	340.3
6	台東区	309.8
7	目黒区	307.0
8	新宿区	306.8
9	品川区	299.0
10	杉並区	298.3
11	世田谷区	294.7
12	練馬区	293.0
13	豊島区	289.3
14	中野区	278.6
15	墨田区	277.3
16 23	江東区, 大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



環境

順位	都市名	スコア
1	江東区	272.5
2	中央区	256.2
3	杉並区	252.1
4	練馬区	251.3
5	江戸川区	248.0
6	文京区	241.6
7	世田谷区	240.8
8	墨田区	237.5
9	葛飾区	234.9
10	北区	234.7
11	目黒区	233.6
12	品川区	231.9
13	大田区	229.8
14	中野区	220.8
15	港区	213.1
16 23	千代田区, 新宿区, 台東区, 渋谷区, 豊島区, 荒川区, 板橋区, 足立区 (市区町村コード順)	



交通・アクセス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	182.3
2	中央区	177.7
3	港区	170.2
4	渋谷区	162.6
5	台東区	158.8
6	新宿区	155.9
7	文京区	154.0
8	品川区	152.6
9	江東区	150.3
10	大田区	148.3
11	荒川区	143.4
12	豊島区	140.3
13	墨田区	139.7
14	江戸川区	137.2
15	中野区	136.3
16 23	目黒区, 世田谷区, 杉並区, 北区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区 (市区町村コード順)	

合計スコア

順位	都市名	スコア
1	港区	1,501.0
2	千代田区	1,500.0
3	中央区	1,362.4
4	文京区	1,206.6
5	渋谷区	1,176.2
6	新宿区	1,122.5
7	江東区	1,100.7
8	品川区	1,065.1
9	台東区	1,057.8
10	目黒区	1,037.7
11	世田谷区	980.9
12	墨田区	977.8
13	豊島区	975.9
14	杉並区	963.9
15	大田区	951.1
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコアの算出のために、まずは各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、87指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数25/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	65.4
2	千代田区	61.4
3	港区	57.8
4	文京区	55.8
5	品川区	51.2
6	渋谷区	50.7
7	台東区	49.9
8	目黒区	49.7
9	杉並区	49.0
10	練馬区	48.5
11	世田谷区	47.7
12	江東区	47.4
13	新宿区	46.3
14	中野区	46.3
15	豊島区	46.2
16 23	墨田区、大田区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



ファミリー 指標数42/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	58.0
2	港区	54.0
3	千代田区	53.2
4	文京区	50.9
5	目黒区	46.0
6	渋谷区	46.0
7	品川区	45.8
8	台東区	45.6
9	江東区	45.5
10	杉並区	45.3
11	練馬区	45.1
12	墨田区	44.7
13	世田谷区	44.5
14	新宿区	43.0
15	大田区	42.5
16 23	中野区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



シニア 指標数36/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	59.6
2	千代田区	57.1
3	港区	53.9
4	文京区	53.7
5	渋谷区	47.5
6	品川区	47.2
7	目黒区	47.2
8	杉並区	47.1
9	江東区	46.8
10	墨田区	46.5
11	練馬区	46.2
12	台東区	46.2
13	世田谷区	45.6
14	新宿区	44.2
15	中野区	43.9
16 23	大田区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



観光客 指標数35/87

順位	都市名	スコア
1	千代田区	49.4
2	港区	48.5
3	中央区	47.1
4	江東区	41.5
5	台東区	38.8
6	渋谷区	38.8
7	文京区	37.7
8	新宿区	35.9
9	品川区	34.4
10	墨田区	34.1
11	世田谷区	31.8
12	大田区	31.5
13	目黒区	31.3
14	杉並区	30.5
15	豊島区	29.6
16 23	中野区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



経営者 指標数36/87

順位	都市名	スコア
1	港区	66.5
2	千代田区	66.0
3	中央区	54.6
4	渋谷区	48.6
5	新宿区	45.5
6	文京区	42.8
7	品川区	41.8
8	江東区	41.0
9	目黒区	39.8
10	豊島区	39.3
11	台東区	37.4
12	大田区	35.8
13	杉並区	34.4
14	世田谷区	34.4
15	中野区	34.4
16 23	墨田区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



従業者 指標数19/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	67.3
2	千代田区	63.9
3	港区	59.8
4	渋谷区	55.4
5	新宿区	51.8
6	台東区	51.5
7	文京区	50.1
8	品川区	48.4
9	目黒区	47.8
10	豊島区	47.7
11	墨田区	46.3
12	江東区	43.6
13	中野区	42.8
14	大田区	42.3
15	荒川区	41.9
16 23	世田谷区、杉並区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	

指標の定義

Definitions of Indicators

指標は、統計資料などにもとづく定量データ（計79指標）および森記念財団が実施した居住者アンケート（計9指標）を用いて設定した。データの取得方法の概要は以下の（1）および（2）の通りである。

（1）統計資料などにもとづく定量データ（計79指標）

- ・可能な限り、公的な統計資料からデータを取得する
- ・公的な統計によらないデータについては、出典が明確なものを採用する
- ・データの取得期間は、2026年1月～3月

（2）居住者アンケート（計9指標）

- ・調査方法：インターネット調査
- ・回答者：18歳以上の対象159都市の居住者
- ・有効回収数：計47,700人（各都市300人）。男女比は1：1、年代は18歳～59歳と60歳以上の比率を概ね6：4とした。
- ・調査時期：2026年3月
- ・調査実施会社：株式会社サーベイリサーチセンター

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
経済・ビジネス	経済活動	1	付加価値額	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「付加価値額（企業単位）」（出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工）。
		2	地域内総支出	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「総支出（地域内ベース）」（出典：環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」）。
		3	昼夜間人口比率	総務省統計局「国勢調査結果」における昼夜間人口比率（従業地・通学地による人口を常住地による人口で除した割合）。
	雇用・人材	4	従業者数	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「産業（小分類）別従業者数－全国、都道府県、市区町村」に掲載の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））。
		5	賃金水準	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除した値。
		6	高等教育修了者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「産業等基本集計（労働力状態、就業者の産業など）」に掲載の高等教育修了者（卒業者 短大・高専／卒業者 大学／卒業者 大学院）を同調査の18歳以上人口で除した値。なお、専門学校卒業者はその修業年限によって、上記どちらかに区分される。
		7	若手人材の転入出	総務省統計局「国勢調査結果」における平成22年時点の高等教育機関へ入学する前の世代（15～19歳）の人口と、同調査結果における令和2年時点の高等教育を修了した世代（25～29歳）の人口の増減比。
	人材の多様性	8	女性就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」における15～64歳の女性就業者数を、同年齢層の総就業者数で除した値。
		9	外国人就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」における「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」に掲載の15歳以上の外国人就業者数を、同調査の15歳以上の就業者数で除した値。掲載がない都市は各都道府県労働局に掲載の数をを用いた。該当局にも掲載がない都市は外国人人口を用いて推計した。
		10	高齢者就業率	総務省統計局「国勢調査結果」における「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」に掲載の65歳以上就業者数を、同調査の65歳以上人口で除した値。
	ビジネスの活力	11	新規設立法人登記割合	国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の各都市の総法人数のうち、過去5年間に新たに法人番号が指定された法人数の割合。
		12	労働生産性	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「付加価値額（企業単位）」（出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工）を、総務省統計局の「経済センサス-活動調査結果」における「産業（小分類）別従業者数－全国、都道府県、市区町村」に掲載の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除した値。
		13	完全失業率	総務省統計局「国勢調査結果」における完全失業者数を労働力人口で除した値。
		14	新規不動産業用建築物供給面積	国土交通省「建築着工統計調査報告」の「建築物：市区町村別、用途別（大分類）」のうち、「L 不動産業用建築物」の過去3か年における床面積の平均値。
	ビジネス環境	15	特区制度認定数	内閣府地方創生推進事務局において「国家戦略特区」に認定された事業数および「総合特区」、「構造改革特区」の特区数をそれぞれ指数化し、合算した値。（なお、都道府県レベルで認定されたものは、0.5の重みづけを行った）。
		16	対事業所サービス従業者割合	森記念財団都市戦略研究所が独自に定義した「対事業所サービス業」をもとに、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類25を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載の当該25小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」（A～R全産業（S公務を除く））で除して算出した割合。
		17 Q	フレキシブルワークスタイル実施率	居住者アンケート「あなたの会社が整備しているフレキシブルな働き方の項目にチェックを入れてください。（複数回答可）」の問いにおける選択肢「テレワーク（在宅勤務など）、オンライン会議、フレックスタイム制、副業・兼業、サテライトオフィス・シェアオフィスやコワーキングスペースの利用、週休3日制度、ワーケーション・長期休暇・育児休暇や介護休暇の利用、多拠点生活」の過去3か年の結果の平均値。
	財政	18	財政力指数	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「財政力指数」。東京23区は東京都総務局行政部「特別区普通会計決算」に掲載の「財政力指数」。
		19	経常収支比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「経常収支比率」。
		20	実質公債費比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「実質公債費比率」。
		21	将来負担比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「将来負担比率」。東京都23区は、東京都総務局行政部「決算に基づく健全化判断比率」における「将来負担比率」。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
研究・開発	研究集積	22	学術・開発研究機関従業者割合	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「事業所に関する集計」に掲載の「学術・開発研究機関」の従業者数を、従業者数(A～R 全産業(S公務を除く))で除して算出した割合。
		23	トップ大学数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 株式会社ベネッセコーポレーション「THE世界大学ランキング 日本版」における上位150の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。(2) Times Higher Educationの "World University Rankings"に掲載の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。
	研究開発成果	24	論文投稿数	文部科学省 科学技術・学術政策研究所の「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング」に掲載の2012-2021 年の総論文数が 500 件以上の日本の193大学、および同研究所の「サイエンスマップ報告書」に掲載の個別国立研究開発法人等を対象に、国立情報学研究所の「CiNii Articles」における2021 - 2025年の1年あたりの平均論文投稿数を合計した数値。複数拠点がある場合は、その平均値を拠点数で按分し推計した。
		25	グローバルニッチトップ企業数	経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選選定企業一覧」に掲載の企業の本社、営業所、事業所などを合算した値。
		26	特許取得数	経済産業省・内閣官房「RESAS (地域経済分析システム)」における「特許分布図」(出典：特許庁「特許情報」)に掲載の特許情報のうち、過去5年間に取得された件数。
文化・交流	ハード資源	27	観光地の数・評価	トリップアドバイザーの「観光」における「名所・見どころ」、「公園・自然」、「アウトドア アクティビティ」、「美術館・博物館・ミュージアム」、「動物園・水族館」、「アクティビティ・ゲームセンター」、「劇場・コンサート」、「テーマパーク」の8カテゴリーの観光地数と口コミ数(ただし、観光ソフト資源と思われる項目を除外)をそれぞれ指数化し合算した値。
		28	文化財指定件数	文化庁「国指定文化財等データベース」および「世界遺産(文化遺産)一覧」に掲載の建造物、風景、特定のエリアに指定された文化財において、以下の通り文化財の種類に応じて重みづけをした値の合算値：世界遺産(3点)、国宝・特別史跡・特別名勝・重要伝統的建造物群保存地区(2点)、重要文化財・登録有形文化財(建造物)・登録記念物・史跡・名勝・重要文化的景観(1点)。
		29	景観まちづくりへの積極度	次の2つの数値の合計値：(1) 国土交通省「景観法の施行状況」に掲載の、対象都市の「景観計画策定」の有無および「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定有無(有りにつき1点)。(2) 『都市景観の日』実行委員会による、平成23年度以降の「都市景観大賞『都市空間部門』『景観まちづくり活動・教育部門』および『景観づくり活動部門』『景観教育・普及啓発部門』」の各賞を受賞した地区または活動数、平成13年度～平成22年度の「都市景観大賞『美しいまちなみ賞』」の各賞を受賞した地区数、平成3年度～平成12年度の「都市景観100選」を受賞した都市数(1つにつき1点)。県が受賞したものは対象外とする。
	ソフト資源	30	イベントの数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)「トリップアドバイザー 日本」の「観光」における「イベント」の数を指数化した値。(2) 公益財団法人日本観光振興協会「ジャパン・ヨナナ・ゴー」の「全国観光情報データベース」のうち、「イベント・祭り」に登録されている件数を指数化した値。
		31	クリエイティブ産業従業者割合	国際連合開発計画(UNDP)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、および東京都産業労働局の報告書をもとに、独自に「クリエイティブ産業」を定義し、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する37の産業小分類を選定した。同調査「事業所に関する集計」に掲載の当該37小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した割合。
		32 Q	文化・歴史・伝統への接触機会	居住者アンケート「現在お住まいの都市は他の都市から訪れた人にとって、魅力的な文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会が多いと思いますか」の過去3か年の結果の平均値。
	受入環境	33	宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設の総客室数。
		34	高級宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設のうち「ハイクラス」に区分される宿泊施設の客室総数。
		35	イベントホール座席数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 公益社団法人全国公立文化施設協会の「全国劇場・音楽堂等総合調査サイト」に掲載の公立文化施設の座席数を指数化した値。(2) 株式会社アイデアログの「会場ベストサーチ」に掲載の施設の宴会場の収容人数を指数化した値。掲載のない都市については、株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設のうち、宴会場を有するホテルの客室数から推計した。
		36	観光案内所・病院の多言語対応	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」に掲載されている観光案内所数を、その観光案内所の多言語対応や観光案内の提供範囲等で区分されたカテゴリーで重みづけをした値を指数化した値。(2) 日本政府観光局「外国人旅行者の受入が可能な医療機関」に掲載の医療機関数を指数化した値。
	交流実績	37	休日の人の多さ	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「休日滞在人口(2022年7月～12月、2023年1月～6月の14時時点、15歳以上80歳未満人口の12か月平均値)」(出典：株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」)を住民基本台帳に基づく人口で除した値。
		38	行楽・観光目的の訪問の多さ	公益財団法人 日本観光振興協会の「デジタル観光統計オープンデータ」に掲載の、過去1年間の市区町村観光来訪者数。
		39	国際会議・展示会開催件数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」に掲載の「国際会議開催件数」を指数化した値(東京23区については開催場所が明記されている一部の国際会議のデータに基づき、区別の開催件数を推計)。(2) 株式会社ピーオービー「展示会データベース」に掲載の「展示会開催件数」を指数化した値。
	発信実績	40	観光客誘致活動	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 国土交通省観光庁「観光地域づくり法人(DMO) 法人一覧」に掲載のDMOについて、市区町村単位の地域DMOを1法人につき1点、広域連携DMOと地域連携DMOを1法人につき0.5点として、法人数に重みづけをして指数化した値(東京については、独自調査により法人を追加)。(2) ツーリズムEXPOジャパンのウェブサイトに掲載の過去5年の出展団体(民間を除く)について、市町村単位の団体を1法人につき1点(単体ではない出展も含む)、広域・都道府県レベルの団体を1法人につき0.5点として、団体数に重みづけをして指数化した値。
		41	自治体SNSフォロワー数	Facebook、X、Youtube、Instagramにおける、自治体もしくは観光協会発信の公式アカウントやチャンネル(災害情報や選挙関連情報のみ発信しているものは対象外)のフォロワー数が最大のものをSNSごとに抽出し、それぞれを指数化し合算した値。
		42 Q	魅力度・認知度・観光意欲度	居住者アンケートにて、無作為に抽出された居住都市以外の3都市に対する「認知度」「魅力度」「観光意欲度」についての過去3か年の結果の平均値。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
生活・居住	安全・安心	43	刑法犯認知件数の少なさ	警視庁または、各都道府県の警察署が公表する刑法認知件数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		44	交通事故死亡者数の少なさ	公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダインフォメーション」に掲載の、過去3か年の「全国市区町村別 交通事故死者数」の平均値を昼間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		45	災害時の安全性	次の5つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」に掲載の、「1980年以前建築の住宅戸数」を総戸数で除した値。(2)同調査の「総戸数に占める避難場所が1km以上離れている戸数」を総戸数で除した値。(3)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「浸水想定区域面積」を総面積で除した値。(4)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「土砂災害危険箇所データ」および「土砂災害警戒区域データ」における対象面積の合計値を総面積で除した値。(5)総務省消防庁「火災年報」に掲載の「出火件数 全件」を昼間人口(万人あたり)で除した値。
		46	空家率の低さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査」における、「居住世帯の有無(8区分) 別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数-市区町村」に掲載の「居住世帯なし」の「空き家」のうち「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」に区分される住宅数を、同調査の住宅総数で除して算出した値。
	健康・医療	47	医師の多さ	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」における「医療施設従事医師数、主たる診療科・従業地による二次医療圏・市区町村別」に掲載の「医療施設従事医師数」の総数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		48	病院・診療所・病床の多さ	次の3つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「医療施設(動態)調査」における施設数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。(2)同調査における一般診療所数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。(3)同調査における病床数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。
		49	平均寿命・健康寿命	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「市区町村別生命表の概況 統計表1」の市区町村別平均寿命、(2)浜松医科大学「都道府県別健康寿命」。(2)は都道府県データのため、(1)の半分の重みづけをした。
	育児・教育	50	合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」に掲載の合計特殊出生率(バイズ推定値)。
		51	育児・教育関連給付金の多さ	株式会社 Zaim「わたしの給付金」に掲載の、市区町村による18歳以下が対象の育児・教育関連の給付金施策の数。
		52	子どもの医療費支援	こども家庭庁「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の「別紙3 市区町村における乳幼児等医療費援助の実施状況」に掲載の医療費援助(通院)および(入院)の対象年齢に応じた点数(就学前1点、7～9歳年度末2点、12歳年度末3点、15歳年度末4点、18歳年度末5点、24歳年度末6点)、および所得制限と一部自己負担の有無(無しにつき1点、通院・入院どちらか無しの場合は0.5点)の合計点。
		53	教育機会の多様性	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)学びリンク編集部「全国フリースクールガイド小中高・不登校生の居場所探し」に掲載のフリースクール数を指数化した値。(2)代表的な高校偏差値情報サイトに掲載の偏差値65以上の高校数を指数化した値。
	市民生活・福祉	54	外国人住民の受入体制	一般財団法人自治体国際化協会の「多文化共生ツールライブラリー」に掲載の多文化共生のための取り組み数。市レベルの取り組みは1点、県レベルの取り組みは0.5点として指数化した。
		55	要支援・要介護高齢者の少なさ	厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」における65歳以上の「要介護(要支援)認定者数」を、同報告に記載の第1号被保険者数(65歳以上人口)で除した値。佐賀市・熊谷市は自治体発表のデータを用い、豊橋市・豊川市・鈴鹿市は推計を行った。
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	日常生活自立支援事業の実利用者数を住民基本台帳に基づく人口(万人あたり)で除した値。
		57	電子自治体推進度	総務省「自治体DX・情報化推進概要(地方公共団体における行政情報化の推進状況調査結果)」の「行政サービスの向上・高度化」のうち、住民のオンライン利用の促進や住民サービス向上に向けた取り組みに関する項目を集計し過去5か年の平均を算出した値。
	居住環境	58 Q	居住環境の満足度	居住者アンケート「自宅周辺の居住環境(防犯性、防犯性、利便性など総合的に)にどれほど満足していますか」の過去3か年の結果の平均値。
		59	新規住宅供給の多さ	国土交通省「住宅着工統計報告」における「第15表 着工住宅：都道府県別、工事別、利用関係別(戸数・件数、床面積の合計)」に掲載の、新設の床面積合計(㎡)の過去5か年の平均を、住民基本台帳に基づく人口(万人あたり)で除して算出した値。
		60	住宅の広さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における1住宅あたり延べ面積。
	生活利便施設	61	小売事業所密度	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「各種商品小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」、「機械器具小売業」および「その他の小売業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		62	飲食店舗密度	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
		63	コンビニ密度	代表的なインターネット電話帳に掲載のコンビニ数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
	生活の余裕度	64	可処分所得	総務省統計局「全国家計構造調査」に掲載の、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月間の「可処分所得額」。東京23区については総務省統計局「社会・人口統計体系 市区町村データ 基礎データ」の「課税対象所得」および「世帯数」を用いて推計を行った。
		65	物価水準の低さ	総務省統計局「小売物価統計調査(構造編)」における「10大費目別消費者物価地域差指数(全国平均=100)」の、「総合」より算出した値。なお、県庁所在市および政令指定都市以外の都市はデータが掲載されていないため、都道府県の値を代用した。
		66	住宅コストの低さ	総務省統計局「全国家計構造調査」の都道府県別家計収支に関する結果に掲載の「住居費」と「持ち家(現住居)の帰属家賃」の合計値。東京23区については、以下の2つのデータをもとに推計した：(1)同調査の横浜市の値および東京都特別区部の平均値、(2)代表的な賃貸不動産サイトにおける、各区および横浜市の住宅賃料相場(2LDK程度)。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
環境	温暖化対策	67	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」で公表されている各市区町村のCO ₂ 排出量合計値を、総務省統計局「国勢調査結果」に基づく各市町村の昼間人口で除した人口1人あたりのCO ₂ 排出量。
		68	再生可能エネルギー自給率	千葉大学倉阪研究室＋認定NPO法人環境エネルギー政策研究所提供の「永続地帯報告書」の地域的エネルギー自給率(電力＋熱)の値。地域的エネルギー自給率とは、地域的エネルギー需要(民生用＋農林水産業用エネルギー需要)に占める再生可能エネルギー供給量の比率。再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、太陽熱、地熱、バイオマス熱を含む。
	廃棄物	69	一人一日あたりゴミの排出量の少なさ	環境省環境再生・資源循環局の「一般廃棄物処理実態調査」に掲載の「ごみ処理の概要」の「1人1日当たりの排出量」の合計値。東京23区は公表されていないため、東京二十三区清掃一部事務組合「清掃事業年報」に掲載の「区による生活系ごみ収集量」の比率によって、環境省環境再生・資源循環局「一般廃棄物処理実態調査」に掲載の23区合計のごみ発生量を按分し、各区の人口で除した値。
		70	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」の「市町村集計結果(ごみ処理状況)」に掲載のリサイクル率(リサイクル率 R')。東京23区については「東京都23区分」の値。
	自然環境	71 Q	自然環境の満足度	居住者アンケート「自然環境(山や森、海や川、緑豊かな公園や街路樹など)にどれほど満足していますか」の過去3か年の結果の平均値。
		72	都市地域緑地率	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「都市地域土地利用細分メッシュ」を用いて、田、その他の農用地、森林、荒地、公園・緑地、ゴルフ場の面積を抽出し、都市地域総面積で除して算出した値。「都市地域」とは、国土を都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域の5地域に分類したときの「都市地域」を指し、都市計画法第5条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域を指す。
		73	水辺の充実度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 株式会社東京地図研究社のオリジナル地図データ「MapPackage」を用いて、行政区域総面積における水辺面積を推計し、これを行政区域総面積で除した値。水辺面積の推計には以下の基準を適用した。①面データがある水域(主に海)においては、陸域から100m圏内の水面の面積を算出した。②線データしかない水域(主に川)においては、陸域から100m圏内の水域の線データの長さを出し、水域の幅を10mと設定し、算出した長さに乗じた。「MapPackage」における水域の取得基準により、水域の数値が0と扱われる場合がある(2) 国土交通省「かわまちづくりウェブサイト」に掲載の「かわまちづくり計画」を策定している市区町村に1点、および「かわまちづくり大賞」を受賞している市区町村には受賞1回につき1点を付与し、その合計値を算出した。
	気候	74	年間日照時間	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の合計日照時間。
		75	夏の涼しさ	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の6月～9月の期間(122日)で不快指数が75以下の日数をカウント。不快指数は、日平均気温および日平均湿度を用いて、以下の計算方法で算出した。不快指数(DI)=0.81T+0.01H×(0.99T-14.3)+46.3 (Tは気温℃、Hは湿度%)
		76	冬の暖かさ	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の30年間の月平均気温が5℃を下回る月の「5℃-月平均気温」の合計値。
	快適性	77	空気のきれいさ	国立環境研究所「大気環境月間値・年間値データ」における「窒素酸化物(NO _x)」の濃度と「微小粒子状物質(PM _{2.5})」の濃度において、全測定局の年間平均値をそれぞれ指数化し、合算した値。
		78 Q	街路の清潔さ	居住者アンケート「他の都市と比べて、現在お住まいの都市の屋外空間、街路等は清潔に(街路上にゴミが落ちていない等)保たれていますか」の過去3か年の結果の平均値。
		79 Q	快適性の満足度	居住者アンケート「現在お住まいの都市の環境の快適性(大気の状態、騒音の程度、悪臭の程度など総合的に)に対して、どの程度満足していますか」の過去3か年の結果の平均値。
交通・アクセス	都市内交通	80 Q	公共交通の利便性	居住者アンケート「公共交通(鉄道やバスなどの運行本数、施設・設備、サービスなど総合的に)にどれほど満足していますか?」の過去3か年の結果の平均値。
		81	鉄道駅・バス停密度	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「鉄道駅データ」と「バス停留所データ」に掲載の鉄道駅数とバス停留所数を、都市計画区域面積からそれぞれ密度を算出し、指数化した値を合算した。
		82	交通渋滞の少なさ	国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」に掲載の旅行速度整理表(都道府県別道路種別別)より、自動車専用道路以外の昼間12時間平均旅行速度(時間帯別交通量加重)の上り・下りを平均した値。
	都市外アクセス	83	空港アクセス時間の短さ	対象都市の市区役所から2時間以内で到達可能な空港(対象空港)までの平均所要時間。平均所要時間は次の2つの数値をもとに算出した：(1) Googleマップで算出した市区役所から最寄り空港までの最短アクセス時間(平日朝10時着、自動車利用)、(2) 国土交通省東京航空局および大阪航空局の「管内空港の利用概況集計表」にもとづく空港別年間旅客者数(国内線・国際線合計)。
		84	新幹線の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」から取得した新幹線の停車駅の乗降客数(新幹線・在来線の合算値)。新幹線の停車駅がない都市は、対象都市内で乗降客数が最大の駅から最も近い新幹線の停車駅の乗降客数。乗降客数が記載されていない駅は、個別にデータを収集した。(2) 新幹線の停車駅までの移動時間。新幹線の停車駅がある都市は、移動時間を0とした。新幹線の停車駅がない都市は、都市内の最も乗降客数が多い駅から最も近い新幹線の停車駅までの移動時間とする(平日朝10時到着、鉄道による移動)。なお、新幹線の停車駅に朝10時までに到達が不可能な場合はスコアを0とした。
		85	インターチェンジ数	国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「高速道路時系列データ」における「一般インターチェンジ」および「スマートインターチェンジ」の数。
	移動の容易性	86	通勤時間の短さ	総務省「住宅・土地統計調査」における家計を主に支える者の通勤時間の中央値。
		87 Q	自転車の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) RYDE株式会社「RYDE CYCLE」、およびナビタイムジャパン「全国のシェアサイクル」の登録数が多い方のシェアサイクルポート数。(2) 居住者アンケート「主たる通勤や通学に用いている移動手段を選択してください。」に対する選択肢(徒歩、自転車、キックボード、バイク、車、バス・路面電車、電車・地下鉄)のうち、自転車の占める過去3か年の割合の平均値。

Q：居住者アンケート結果を用いている指標



日本の都市特性評価

Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness

2026年7月

編集・発行

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

装丁・印刷：光村印刷株式会社

調査に関するお問い合わせ

iusall@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

TEL : 03-6406-6800

www.mori-m-foundation.or.jp

© 2026 The Mori Memorial Foundation

このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

J a p a n
P o w e r
C i t i e s

Profiling Urban Attractiveness